京城日報

二十六日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價 △一部金二錢五厘 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 小川三之助
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
電話番號 [illegible]　振替貯金口座京城[illegible]

[illegible]

◎民政署設置と抗議

日本の青島民政署設置に關し支那政府は强硬なる抗議を提出したり（北京特電）

◎エイヌ稀有の激戰

巴里來電＝エイヌ戰線に於ける二十三日の戰鬪は一千九百十四年以來最も重要なるものにて彼我兩軍は長日月間準備を整へ獨軍の如きは其精兵と最も威力ある武器を集めしを以て佛獨兩軍は非常なる激戰を演ずるに至りたり佛軍の成功は完全なるものにてアイレッテ平野を扼する重要地點たるマルメーソン要塞の彼方迄直進せり無數の敵の天然地下要塞は佛軍の十六吋砲彈に依り粉碎され其守備兵は土中に埋沒されたり（倫敦電報）

◎獨逸宮廷の陰謀

チユークッヒ來電＝獨逸皇帝は皇太子並に參謀總長ヒンデンブルグ將軍其他の幕僚を招き目下重要なる會議を開きつゝあり而して宮廷の裏面には各種の陰謀盛んに行はれつゝあり（倫敦電報）

◎墺都市食糧暴動

ベルン來電＝墺都維也納、プレスブルグ、ライバッハの諸都市に激烈なる食糧暴動起り多數の軍需品工場は破壞せられ軍隊出動多數の住民は銃殺されたり（倫敦電報）

◎汎獨主義者とビ公

汎獨主義者は前宰相ビユーロー公を宰相たらしめんと盡力しつゝあり（倫敦電報）

◎吉林省獨立取消

吉林督軍孟恩遠氏は吉林省の獨立宣言を取消したりと傳へらる（長春電報）

◎兩問題善後協議

林公使は二十三日外交總長汪大燮氏を訪問し鄭州問題並に吉林問題の善後策に就き協議したり（北京特電）

◎鳳凰山擔保借款

北京政府は江蘇省鳳凰山鐵鑛を擔保とし日本の某商會と借款を成立せしめんとしつゝありと（上海電報）

◎日支爲替銀行近く成立か

日支爲替銀行（滙業銀行）設立問題は其後中絕の姿ありしが最近山成臺灣銀行理事交通銀行借款の用務を帶び渡支の際要路者の希望を聽取して歸朝以來小野日銀副[illegible]銀櫻井鮮銀美濃部氏等の具體的協議と成り更に勝田藏相水町日銀副總裁と會合協議を重ねつゝあれば遠からず成立を見るべし（東京特電）

◎朝鮮新事業公債

朝鮮事業公債は十二月一日を以て支拂期日に達するに依り其借替への爲め三千萬圓並に新規事業公債一千五百萬圓合計四千五百萬圓は十一月中旬迄に發行せらるべく現在の朝鮮事業公債の發行條件は五分利手取九十八圓にして支拂期限五箇年なるが新借替公債は多分期限を短縮さるべく其賣出しは日銀直接之れに當るべしと（大阪特電）

◎首相の歸京

寺内首相は二十五日山縣公を訪問せしが即日歸京せり（東京電話）

□士官學校行幸

天皇陛下には二十六日午前九時三十分陸軍士官學校に行幸あらせられ准尉候補生第一回修業式に臨ませられ卒業生二百三十五名の基本體操並仕合馬術等天覽の後優等生八名に對し恩賜の銀時計を御下賜あり正午還幸あらせられたり（東京特電）

◎日支新聞記者の名士招待宴　日支新聞記者倶樂部は去廿二日午後七時北京大和倶樂部に於て大會を開き來京中なる政友會總務小川平吉氏（[illegible]）及衆議院議員大內暢三氏を主賓とし陪賓には林公使以下各館員並に各顧問支那側よりは各部總次長を始め[illegible]の有力者を招待し盛んなる招待宴を催せり酒間石川幹明及小川平吉の兩氏相次で感謝の意を述べたる後交々支那に對する希望の演說をなし非常なる喝采を博せり。寫眞は當夜の實況にして起立演說をなしつゝあるは石川幹明氏其左より小川平吉氏[illegible]靑木中將にして石川氏の右は林公使[illegible]內務總長なり（北京）

◎新任駐日大使

新任駐日米國大使ローランド、モーリス氏夫妻は二十五日午後五時横濱着直ちに入京 米國大使館に入れり（東京特電）

◎日露爲替低落

[illegible]日露爲替は空前の大低落にて二十五日大阪入電に依れば六百留なり（大阪特電）

◎東京商議員北行

東京商業會議所議員支那視察團山科禮藏氏の一行は二十六日朝連絡船高麗丸にて釜山着同十一時四十五分發列車にて京城に向へり同視察團中柴田、田澤二氏は大連へ直行し今村氏は後れて出發五市皆にて一行に合する筈なり（釜山特電）

◎泰東日報社長通過

[illegible]泰東日報社長は二十六日朝入港の連絡船にて著釜大連に向へり（釜山特電）

◎御眞影拜賀

朝鮮駐箚軍司令部にては天長節御眞影拜賀式を行ふに付關係一般に左の如く通達せり

一、軍司令部並軍直屬（師團及衛戍病院を除く）諸部隊將校、同相當官高等文官（朝鮮將校を含む）及び軍司令部判任官同待遇者雇員は同日午前十一時軍司令部に參集すべし

二、式の順序は左の如し

一、無位勳下士判任文官及び雇員は軍司令官に對し賀詞

二、將校同相當官、高等文官、御眞影奉拜（上長官以下三名乃至四名宛）其の順序左の如し
將校、同相當官（朝鮮將官を含む）幕僚、法官部、經理部、軍醫部、獸醫部、軍司令部附軍鮮將校、陸軍倉庫、衛戍監獄、朝鮮步兵隊

三、有位有勳軍司令部附下士判任文官及び雇員　御眞影奉拜　其の順序前項に同じ

三、服裝は正裝（同相當服）とす、但し服制なき者は『フロックコート』又は羽織袴とす

◎聯合國慰問（報告）

我が聯合國傷病兵罹災者慰問會は本月一日を以て其筋に依頼し各聯合國に慰問金送附の手續を了し略ぼ事務完結せるを以て總裁公爵德川家達副總裁男爵澁澤榮一同島田三郎三氏の名を以て同十日山縣政務總監に宛て事業の概況を報告すると共に從來の盡力に對し感謝の意を表し來りたり其要綱に依れば從來の醵金の外慰問號作製中京都其他の地方より二萬圓の寄贈ありしに依り之を追加し總額百九十四萬圓を左の如く分配送附したり

▲英國 金三十六萬三千圓 ▲佛國 金三十六萬三千圓 ▲露國 同三十六萬三千圓 ▲伊國 同十六萬三千圓 ▲白耳義 同六萬圓 ▲塞耳維 同六萬圓 ▲ルーマニヤ 同六萬圓

英國に對する慰問金額の佛國其他に比し金五千圓の差違あるは英國指定寄附金五千圓あるに由れり尙慰問金は[illegible]、佛、露、伊、リーダー銀に換算するに當り成るべく端數を生ぜざる樣にせり尙收支計算概略左の如し

一、收入總額二百萬二千九百八十三圓五十六錢二厘
▲内譯 ▲御下賜金十萬圓 ▲寄附金百八十七萬五千〇八十五圓六十一錢二厘 ▲利子二萬七千八百九十七圓九十五錢

一、支出總額金百九十九萬八千百五十六圓四十四錢六厘
▲内譯 ▲慰問金百九十四萬圓 ▲慰問號費一萬圓 ▲事務費四萬八千九百五十六圓四十四錢六厘 ▲差引殘金四千二十七圓十一錢六厘

◎帝國の年間生產力

日露銀行の設立と兩國爲替の決濟

法學博士 小林丑三郎氏談

入京中の支那財務官小林丑三郎博士は地方財政の大家なるが昨年來內務省の囑託を受け內地各府縣の民力調査を行ひ此程漸く終了し調書のみは博士の手により脫稿し印刷に附したる由に付近く公表の答なるが其の日本の一年間に於ける各種生產調査の結果を博士は概要左の如く語れり

予等の帝國民力調査は大正四年の現在を以て之れを行つた、其の內生產力の調査は（一）農業林業（二）水產（三）工業鑛業と云ふ三大系統に分つて試みたが各種

▲生產の總額 は四十一億圓となり其內製造工業の生產額は二十一億圓乃ち全額の五割强を示し而して農產は十四億五千萬圓、其他の鑛業林業水產の如きは何れも三億以下で工業及び農產とは全く比較にならない、乃ち生產額の大小から見ると日本は正に工業國であり又工業國として步武を進めつゝあるのである、唯其の農工の各生產額を府縣別に見ると農業生產の方多額を示してゐるのは三十一縣に達し工業生產の勝つてゐるのは十七府縣であり又其從業者から見れば農業者は遙に工業從事者を凌いでゐるけれども其生產總額は

▲正反對で 前述の如き數字となつてゐる殊に大正五年より六年にかけては世界の大戰爭に刺戟を受け吾が工業品の生產增加率は非常なものであるから恐らく本年の工業生產は三十億に近づきしならうが又農產も大正四年に石十二位の採算で總額を出したから昨今の如く二十圓を超ゆる米穀相場で五千萬石以上の米產を評價したらば更に豆麥等も均しく上つてゐるから恐らく十七八億圓位に達し總生產額は六十億に及んでゐるかも知れない、富國と云ふ事は怎うしても工業を殷盛ならしむるより外に據徑はない、其上日本の食料問題などから論じて日本

▲農本位論 を高唱する者もなきに非ずだが、食料問題の如きは臺灣朝鮮の新領土あり更に滿洲に吾が利權の及んだ今日思ふに必要はない、唯、母國と植民地間の連絡を附くるに十分な海軍を備へて居れば結構である、工業立國、之れ日本產業の國是とすべき標語である、莫斯科商業銀行頭取コンシン氏の來朝は久しい間の問題たる日露銀行創設のためたる事は公然の秘密と云つてよい、コ氏と日本有力銀行家の商議がどう進み如何なる形式で日露銀行の成立を見るかは今日豫測し難いが、其の成立を見たならば今夏來露國外國爲替取組禁止令により全く梗塞杜絕せる

▲日露兩國 間の爲替決濟方法は必らず疏通して來るだらうと信ずる、爲替決濟の方法がつけば最近沈衰せる日露貿易も復活して來るであらう、コレは露國のためにも物資供給を受くる關係上必要であり日本の生產界にとりても非常な福音である、又激落せる盧貨も日露爲替決濟を主とする大銀行の成立を見たならば必らず相當の氣配を有つて來るだらう、又

▲露國財政 の將來は極端に悲觀されて居る樣だが露國々土の大なると、農產の豐饒なると過去に於て財政難の聲喧しかりし時多くの年月を經ずして整理された財政史等より見て必らずしもさうであるまい、唯同國々政の進行が現今のやうな政體で將來圓滿に行くか又戰局が今後非常に露國に不利を來しはせぬかどうかと云ふやうな事は同國財政整理の難易輕重上非常の關係を有するとは云へやう

◎商品擔保貸高

總督府の調査に係る九月末現在商品擔保の貸出高を見るに左の如し

▲朝鮮產品 倉庫業者の保管に係るものの百一萬一千三百六十二圓、現物保管のもの二百三萬三千二百二十六圓、合計三百四萬四千五百八十八圓にして前月に比し百十六萬四千二百二十七圓を減ぜり

▲輸移入品 倉庫業者の保管に係るものの百六十六萬三千百七十圓、現物保管のもの二百七十一萬三千四百十九圓、合計四百三十八萬六千五百八十九圓にして前月に比し二十萬八千五百九十圓を增せり

▲貸出合計 倉庫業者保管のもの二百六十七萬四千五百三十二圓、現物保管のもの四百七十五萬六千六百四十五圓にして前月に比し前者は十二萬七百四十九圓、後者は八十三萬四千八百八十八圓の何れも減少を示し總計七百四十三萬一千百七十圓にして前月に比し九十五萬五千六百三十七圓を減ぜり

◎道府郡參事會

京畿道府郡參事諮問會第二日は二十六日午前九時より構內宣化堂に於て松永道長官主裁の下に開會管內產業獎勵、地方財政、教育宗教等各諮問事項に對する各參事の答申並に意見を徵し午後四時散會せり

◎授與式順序

全鮮釀造品々評會は二十五日より商品陳列館樓上に於て開催の事となれるは本紙既記の通りなるが其の褒賞授與式も亦た同日午前十一時より長谷川總督、山縣政務總監、小原農商工部長官、鈴木度支部長官以下關係各課長事務官技師等列席總督府第二會議室に於て擧行の事に決せり其の次第左の如し

一、午前十一時一同著席　一、長谷川總督山縣政務總監臨場　一、生田商工課長擧式を宣す　一、豐永審査長審査の結果を報告す　一、長谷川總督褒賞を授與す　一、長谷川總督告辭　一、受賞者總代答辭　一、生田商工課長閉會を宣す

◎定例長官會議

總督府にては二十六日午前十時より第一會議室に於て定例會議を開き長谷川總督、山縣政務總監、各部長官、官房各局長等列席審議し正午過散會せり

◎文官禮式と通牒

總督府荻野總務局長は本月二十三日附を以て各道長官に對し左の如き通牒を發せり

本府及所屬官署文官禮式方に關しては明治四十四年府令第八十七號朝鮮總督府及所屬官署文官禮式の規定あるに拘はらず近來漸く之が實行を怠る者多く途中上長官に對し又時としては總督に對しても缺禮せる者有之之儀に付此際管下職員へ嚴重に注意し右樣不心得の者無之樣致度此段依命及通牒候也

◎辭令

二十五日附左の如く辭令ありたり

朝鮮留學生監督 荒木捨作　盛岡、青森、三本木、秋田、新潟、上田へ出張を命ず

朝鮮總督府臨時土地調査局監査官 從七位勳六等 千脇正司　正七位勳六等 吉田幸次郎

陞叙高等官六等 同
陞叙高等官七等 正八位勳七等 塚田忠雄

三級俸下賜 千塚正司　二級俸下賜 吉田幸次郎　五級俸下賜 塚田忠雄

陞 土地調査局監査官 三級俸下賜 關生長次郎　四級俸下賜 同 中野藤作（各通）

右文官分限令第三條第一項第三號に依り本官を免ず（二十五日附）　臨時土地調査局副事務官 尾石剛毅 木村宜範

依願免本官（二十五日附） 朝鮮總督府郡守 金麟植

陞叙高等官五等（二十三日附）

◎國分長官東上

兼て出張の命ありたる國分司法部長官並に事務官御野忠武氏は二十五日午前八時三十分發汽車にて東上せり

◎小林財務官

入京中の駐支財務官小林丑三郎博士松岡大藏事務官の一行は二十六日午前自動車にて仁川に往復し午後は總督府訪問並に關屋學務局長の東道にて昌德宮其他を觀覽夜は千代本に於ける三島鮮銀理事の招宴に列し午後九時四十分南大門驛發列車にて奉天に向ふ

◎中川博士南鮮行

理學博士中川猛之進氏は廿五日入京廿六日午前八時三十分南大門發列車にて英人植物學者ウヰルソン氏同伴にて木浦に向ひ二十七日同地發濟州島に向ふ豫定なり

◎廣瀨主計監歸任

西鮮巡視中の廣瀨主計監は本月二十三日歸任の豫定なりし所都合に依り二十七日午後七時歸任の事となれり

◎川上東拓理事消息

西鮮視察中の川上東拓理事一行は二十五日夜平壤に出で二十六日同地視察同夜官民招待披露宴二十七日沙里院視察二十八日夜歸京すべし

◎兩課長の歸任

金剛山方面に出張中なりし村田鑛務課長田中山林課長は二十五日南大門驛着列車にて歸任せり

◎佐藤軍醫部長出發

軍司令部軍醫部長佐藤軍醫監は三等藥劑正有働一等軍醫を隨へ二十六日朝龍山驛出發平壤部隊衛生事務査閱の爲め出張したるが歸任は來る三十日の豫定なりと

◎漢城醫師會總會

漢城醫師會にては二十六日午後七時より鍾路通長春館に於て秋季總會を開く

◎滿洲線兩驛名改稱

來る十一月一日より滿鐵滿洲線鞍山站驛を『千山』馬伊屯驛を首山と改稱することとなれり

◎釜山商學生徒修學旅行

釜山公立商業學校本科第三年生は二十五日東京方面へ同第一、二學年生は馬山、統營方面へ豫科一、二年生は馬山、鎭海方面へ何れも廿六日修學旅行の途に就きたり（釜山）

◎七十七聯隊歸還

開城附近に於て擧行されたる步兵第三十九旅團秋季機動演習に參加したる步兵第七十七聯隊は二十五日午前十一時歸隊せり（平壤）

◎郵船株の暴落に就き

二十五日夕刊東京至急電『株式界大恐慌』中郵船株百圓暴落百五十圓臺となり云々の報ありしも更に二十五日夜到電二十六日朝刊に揭載せし東京電報は郵船株暴落二百三

十九圓を報じ來れり乃ち兩電の間に八十餘圓の大差を生じ居れるが更に本社にて大阪特電等を照合したるに後電二百卅九圓說の方眞に近き如し茲に特記して後報を待つ

◎中島司氏送別宴

本社經濟部長たる中島司氏は近く內地歸還の筈なるが二十五日夜喜久家にて韓相龍氏の祖道宴あり二十六日は同じく喜久家にて三島朝鮮銀行理事の送別宴ありたり

人事消息

▲山本忠美氏（牧師） 總督の用務を終へ廿四日內地より歸任
▲齋藤京畿道參與官 廿五日午後仁川より歸京
▲久保滿鐵京管局長 二十五日大田へ
▲井上主計氏（憲兵二部長） 二十五日午後入京山本旅館へ
▲伊藤悌藏氏（農商務省產業課長） 二十五日午後入京巴城館へ
▲前田高等警察課長 二十六日午前安東方面より歸任
▲ウイルソン博士（帝大教授） 二十六日午前木浦へ
▲濱崎幸次氏（大倉組社員） 二十五日夜入京天眞樓へ
▲加茂能二氏（小野田セメント社員） 二十六日朝入京同上
▲松村良太郎氏（新義州木材會社支配人） 二十五日退京

彼れ此れ

○墺帝のソフィヤ行辭退、首相ザイトラーの秘密會同、チエルニン首相と、獨宰相ミハエリスの歸還と共に、獨帝のソフィヤより君府に急行せしは、其間何等意味なしと言ふ能はず。最近獨墺兩軍內の鬪爭等も、觀じ來れば、今や中歐同盟國間には、一種妖雲の棚引くものあるを見ずや。

○[illegible]憤慨、吉長を擁して、方に飄迴せんとす。山來督軍[illegible]、陽動は在り勝也。然ども吉長は我勢力圈內にあるを以て、他と其の比を同ふせず、注目を要す。

○牝鷄晨を報じて、右顧左眄、遂に名聲を失墜せし、前希王コンスタンチン一世、病篤しと。秋雨蕭々たるの夕、坐ろに往時を追懷せば、果して如何の感あらん。

○安徽の倪嗣冲、病未だ癒へずと雖も、床上頻りに悶々、姦に叢策大に爲すあらんとすと傳へらる。彼の生命は、政爭にあり。此の時此の際、彼が滿腹の野心は何れの方面に當つて、現はれ來らんとするか。彼亦一代の快男子たるを失はず。

〔徵興一象兩子近什〕

久芳徵聲氏は林一象知事の在鮮中毎日早曉南山登りの侶伴として寒山拾得の意も啻ならざりしが此程の散策に左の一詩を得たる儘早速山口に向けて端書一葉を飛ばした

曉霧開來壘嶂姸。孤帆掛處水連天。變幻山履同遊交。不識今朝在那邊。

一象子亦た曾遊を憶ふの情に堪へずとて左の嚴島にての近什を寄せて來た相だ

鳴きに來ていざ歸らん秋の塚

商業登記公告

株式會社漢城銀行ハ大正六年拾月拾五日京城府南大門通四丁目壹番地ノ支店ヲ同四丁目五番地ニ移轉シタリ
[illegible]
右大正六年拾月貳拾日登記

株式會社第一銀行ハ大正六年拾月拾六日門司市大字門司字本町[illegible]番地ニ支店ヲ設置シタリ

支配人選任 支配人ノ氏名住所 京城府明治町壹丁目五拾四番地 [illegible] 主人ノ氏名住所 同所 [illegible]株式會社支配人ヲ置キタル場所 同所
右大正六年拾月貳拾參日登記

廣業株式會社取締役 [illegible]植、閔用基、尹泰善ハ任期滿了 關大植、尹泰善ハ大正六年拾月五日重任シ同日京城府堅志洞[illegible]番地文在裕、京城府山手町[illegible]番地閔裕植取締役ニ當選シタリ

朝鮮銀行ハ大正六年拾月貳[illegible]支那山東省青島河南町壹番地ニ支店ヲ設置シタリ
右大正六年拾月貳拾參日登記

京城地方法院

東京式タンス 指物 製造販賣
京城本町四丁目 電車終點右入半丁
津村タンス店 電話二六七〇番

東京新時代劇 愛澤正義一行
壽座
進歩せる新劇界の藝術を見てください
珍らしきものばかり上演いたします
廿五日より向一週間
日延なし

汽機汽罐賣却
一、汽罐 長十五呎 徑三呎六吋 ユールニッシユー型 水壓二百封度 壹臺
一、汽罐 長十一呎 徑三呎八吋 コールニッシユー型 水壓二百封度 壹臺
一、汽機 壹臺
一、石油發動機 舶來橫式二十馬力 壹臺
一、煙筒 長六十呎 徑一呎 五馬力 タラップ付 壹臺
右の品賣却仕候に付御入用の方は御一報被下度此段廣告候也
平壤本町 岩田留楠商店

京染各種 御誂紋付用 白生地販賣 刺繍各種 衣裳圖案
新年用御誂へ紋付染物は至急御申込被下候 此際特に勉强仕候
京城本町二 京屋 長電一四〇一

●秋の情趣を背景に

華かな朝鮮釀造品評會の陳列

朝鮮釀造品々評會は愈々二十七日から卅一日迄五日間商品陳列館の樓上で開催される事となつたので廿六日の午後館内を覗いて見た

□◆先づ門前に 立つと何時もの煉瓦の厳めしく角張つた門は淺緑や白や青を隈取つた布で綺麗に包まれて何となく軟かい輪廓を表はして居るのが目に付く這入つて行くと玄關正面に在る紫術と題字を掲げた陳列戸棚は何時の間にやら

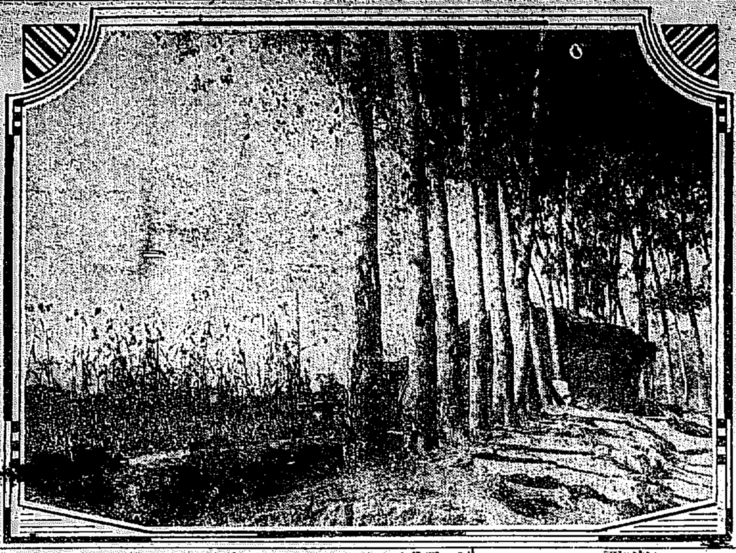
□◆模様を一變 し紅葉の錦黄金の風にさらさらと散り敷く秋の野邊に佇む人の影いくつ背景の色に映わて情調豐かな秋景色となつてゐる、直ぐに會場たる階上に上ると入口出口のアーチも同じく色彩に富んだ布で包まれ

□◆紫絨子地に 白茶色の文字で品評會出品と書た額が掲げてある、中に這入ると今正に出品の陳列準備の最中で目の廻る程の忙しさ、陳列箱は總て秋の情趣に相應はしい背景に形られ其れにセセッションの趣を組みゴシック風の

□◆色彩を加味 して目醒むるばかりの鮮かさである、之等は總て工業傳習所の技藝科を修了した木工の人達の苦心に成つたものだと言ふ事である總じて秋と云ふ時候に適應した背景に棚の仕組み、色彩と云ふ事には陳列者一同

□◆非常な苦心 をして居ると云ふ事であつた此の準備が整へば早速各道出品たる清酒百十六點、果實酒十一點、味淋六點、燒酎三十九點、人蔘酒一點、醬油八十一點、味噌二十八點合計二百八十二點の醸造品が色鮮かに排列される事となつてゐるが之等の内優良品は

□◆特に中央の 六角戸棚に陳列される事となつて居ると言ふ事だ開會日の二十七日からは一入の賑ひを呈する事だらう



秋高し ―廿六日龍山附近にて―

●鹿兒島縣下 大洪水

二十三日より鹿兒島縣大隅地方暴風雨の爲め曾於郡志布志村外數箇村は數十年來の大洪水にて被害多し(鹿兒島電報)

●奉祝提灯行列と實行委員

市民奉祝會の天長節提灯行列に關する打ち合せは二十五日午後本社來賓閣に於て諸事協議せし事は既記の如くなるが内地人側實行委員は旭町二ノ五一佐藤熊太郎(電四七九)大和町一ノ一一神崎驅次郞(電九二六)太平通二ノ一〇二大垣丈夫(電八七五)の諸氏に決定し外に本社及び毎日申報社員を加へて各々其の實行方法に付て協議する事となれり

●九州線驛長の大更迭

鐵道院九州管理局にては八幡製鐵所二瀬炭坑瀆職事件に關し筑豐線驛長の二三者拘引さるゝに至り同地方は石炭輸送に關し貨車配給上誘惑の虞あり在職久しきは隨つて誘惑甚だしと爲し二十六日驛長三十名の大更迭を行へり(門司特電)

●買方客筋の犧牲となる

自殺せる仲買人杉山氏 北濱株式取引所仲買人杉山久右衛門氏投水自殺せる事は既報の通りなるが右は買方客筋の追證不納に原因せるもの丶如く杉山氏のみならず六十八軒の仲買店は何れも之が爲めに惱まされ居れり杉山氏の自殺は全く客筋の犧牲と成れるものなりと(大阪特電)

●貴族院議員家宅搜索を受く

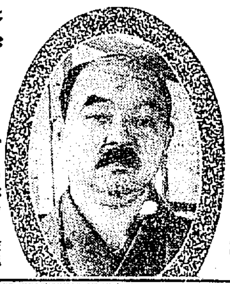
八幡製鐵事件

筑前八幡製鐵所疑獄事件に關し貴族院議員麻生太吉氏は家宅搜索を受けたるが其結果同家の總務、會計、外交員等續々拘引せられたり(門司特電)

●私財を投じて橋を改築す

東幕富豪高氏の美擧

麻浦東幕街道といへば京畿方面の要路、一般の通行人は勿論、牛馬車の往復の非常に激しい處であるが、高陽郡と京城府との境になつてゐる東幕川がその街道を截流してゐてそこには觀瀾橋といふ小さい木橋が掛けてあつたが年古るに隨つて橋の一部は破毀され橋柱腐りて行通上頗る危險を感じた、そこで今回東幕の富豪高允默氏は公共事業として一萬圓の私産を投じて同橋の改築計畫をなし設計及び工事監督は全部京城府廳に依托した新築される橋は全長二十餘間、橋高は水面下十七尺水面上十三尺の石橋、工事は今年五月より起工し落成期は來月中旬なるべしと因に同高氏は總督府及び道府廳より度々表彰されたる朝鮮稀有の慈善家である



◇牛福百穗氏の『豫讓』

昨夏金剛山を跋涉して得たる作品を本紙上に掲げ、氏獨特さしいふべき新南畫の豪快雄勁なる筆致に多大の賞讚を博した平福百穗氏は今年の文展に出品した『豫讓』が特選第二位に入りその取材、手法等に於いて全然類を絶てるものとして場中出色の評を一身に聚めてゐる、百穗氏は近來好んで南畫に筆を染め天質の洒脫を直ちにその藝術に托せんとしてゐる、今回の『豫讓』の如き即ちそれで豫想は淺石の折本より得たものである、『私の繪に出さうとした氣分は或る大問題が『豫讓』の話について同氏の談の一節に曰く物狡される定紳に統一される一分の隙も無い緊張感であつた』と、全く『豫讓』の繪には作者の出さうとしたその集合の氣分が出てゐるといふ評に諸家の評が一致してゐるのである

●京城倶樂部發會式

總督府所屬官署の職員を以て組織せる京城倶樂部にては來る十一月四日午前八時より發會式を兼ね訓練院グランドに於て秋季野球大會を開催する筈なるが當日は午後の部に於て京龍各野球チームより選手を招待して模範的試合を爲すべしといふ

●藻寄丸擊沈さる

一名溺死他は全部救助せらる

日本郵船會社汽船藻寄丸(三千七百五十六噸)は廿日カナリー島南方に於て潜航艇の爲め擊沈せられ死者一名を生じ其他は全部救助されたり(東京特電)

●又も關東に暴風雨

東京附近は浸水家屋頗る多し

二十五日箱根より湘南地方に暴風雨あり又東京附近は强雨にて浸水家屋多數に上りたるも二十六日朝に至り晴天を見るに至れり(東京電報)

●淀川堰止工事破壞

降雨の爲め鐵道電車不通となる

二十五日夜來の降雨の爲め二十六日朝に至り淀川大塚堰止工事全部を破壞し三島、西成兩郡は三度氾濫して鐵道、電車皆不通と成り住民は避難の爲め混雜しつゝあり(大阪特電)

●一時に四兒を產む

滋賀縣愛知郡日枝村字大町村大野六年妻イへ(三一)は四兒(一男三女)を生み四兒共間も無く死亡し母も危篤なり(大阪特電)

●大熊五人を傷く

遂に射止む

去る二十日午前十時頃全羅南道順天郡東草面大倉里居住李順蛋なるもの同里山林中にて薪採取中突然傍の竹藪の中より約三十貫目もあらんと思はるゝ大熊一頭現はれ出で驚き周章てる李の

▲右眼を掌にて 打ち眼球を潰し李が悲鳴と共に逃れんとするを何迄追掛けて右腕を打叩きて自由を失はしめたれば李も命の瀬戸際と懸命に麓に駈け下り此由里民に急報せしかば里民約百餘名各々根棒鋤鍬等を携へ該山林を包圍し狩立てしかば熊は再び姿を現はし寄らば打殺さん氣勢を示すにぞ皆々逡巡して立出づる者もなかりしが中に平常力自慢の若者は根棒を捨て四方より一齊に

▲熊に組付きし かば熊も渾身の勇を揮つて四人の若者と鬪ひ遂に四人に重輕傷を負はせたれば今は唯一人寄付くものもなく此上は官憲の出張を乞ひ射殺するより外に途なしと四五人の者は順天分隊に急報すべく赴く途中順天居住米人宣教師プレストン並に醫師ウイルソン兩氏が銃獵の爲め馬車を走らして筏橋方面へ赴くを見て呼止め今迄有りし次第を告げ救を求めたるに兩氏は早速承諾し里民の案内にて現場に赴き熊を驅り出さしめて

▲難なく擊止め 肉を里民に分ち與へ尙ほ負傷者五人の內重傷者四人は順天なる耶蘇病院に運び入れ手當を加へたるが右眼を叩き潰されし李は遂に失明の外なしと(光州)

●京城水道の水質試驗

細菌數の尠い事は日本全國水道で七番目

京畿道水道係にては京城、仁川兩水道淨水作用の監視機關とし且つは使用者の爲めに專屬の水道水質試驗所を設け水質試驗を行ひつゝあるが數日前に水源地より

▲市內各水栓 に亙りて行ひたる水質試驗成績を見るに水質は當年中最も良好にして細菌數その他化學的成分を極めて少なく之を數年間の成績に對照するに殆んど斯る優良水質なし是れが原因は種々あるべしと雖も降水量の減少せる事は源水々質を良好ならしめ

▲濾過作用の 改善は濾過水質を更に良好ならしめたる主因なるべし、今細菌數より觀るときは檢水一立方センチメートル(一勺の四分の一)中平均十個に達せざる少數にして市內井水の如きにありては數百以上數千個に達するもの多し之を昨年發表せられたる日本全國の八十有餘の水道水質に比すれば淡水、長野、濱島、神戶、東京、仁川に次ぐ良水質なり化學的成分は內地の水道に比し稍劣るも

▲中位の上部 にあり殊に格魯兒分即鹽分の如きは內地良水に劣ると雖も世界的良水道と稱せらるゝ獨逸ミユンヘン水道の檢水一リーテル(五合餘)中六ミリグラムを含有するに對して京城水道は四、ミリグラムに過ず、之をロンドン水道の十八ミリグラムに比すれば遙に良好なりと謂ふべしと當局者は語れり

●脫稅者の起訴

名古屋市の繩糸商近藤擇八、松岡幸右衛門は脫稅を計り起訴されたり(名古屋電報)

書畫賣入札
二十七日下見、二十八日正午より競賣
南山町 佐々木聚古堂 電二二三

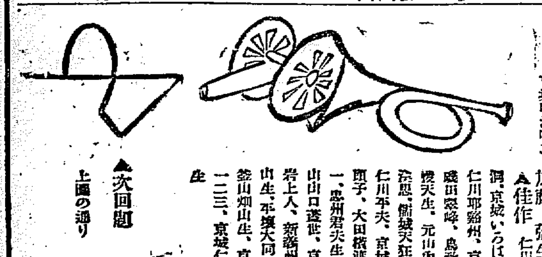
◎永野醫師母堂逝去 鍾路警察署長永野警視母堂は久々病氣にて大分病院に於て療養中二十五日夜遂に永眠せる旨通知ありたり享年五十四歲葬儀は大分縣高田町に於て執行の筈なり

灯と燭

▲近頃は社會一般に衞生思想が發達して來た結果個人衞生は勿論公衆衞生なども大分注意を拂ふ樣になつたが▲先達東京から赴任途中山縣政務總監は大阪驛で茶を買ふて見ると茶瓶の口の上が象の鼻の如くぐるつと曲つて蓋をして車中の塵埃が入られぬ樣な趣向になつて居るを見て▲是りや面白い趣向の茶瓶ぢやと甚く氣に入つて京城に持歸つたが近く工業傳習所の豐永博士に遂つて參考品に提供されるさうな▲それに就いて思ひ出したが過日鐵道管理局で記者團を招待した節膳部の上に竹の四ツ手を置き其上に白布を覆ひ客が膳部につけば其の白布が直にナフキンとなる趣向となつて居た▲此れなどは衞生實用一擧兩得の思付きで彼の紅裙連が赤い襷掛を肩へし作ら膳部の周圍をバタバタする日本式の宴會などでは早速學ぶ可きであると思つた

讀者文藝(一等に五十錢 新案物を募す)

▲猜めね
○玩具の大砲と喇叭(一等) 京城明治町二 加藤彌生
▲佳作 仁川松洞、京城いろは生、仁川耶蘇州、京城成田窓峰、鳥致院櫻天生、元山內山奈思、御城天狂生、仁川平夫、京城梁頭子、大田枕渡新一、忠州君夫生、順山口遂世、京城岩上人、新義州祭山生、平壤大同江、釜山畑山生、京城一二三、京城仁作生



▲次回題 上圖の通り

課題及び募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の募る事

東京株式特電

暴落後の株式も遂に反動を惹起し日本郵船株一躍に暴騰せり

東京期米特電

甲五分 九六二〇

仁川期米

二十六日後場 [illegible]

後場 當限 寄付出來不申 中限 寄付二十三圓十九錢 先限 寄付二十三圓[illegible]

前場 寄付 止め [illegible]

▲二十七日後場 當限四節二十圓十錢 中限一節十九圓二十錢三節廿錢 先限一節十八圓八十五錢六節五[illegible]

天氣

晴れ一時曇り (廿六日午後六時迄 廿七日午後六時迄)

▲十月二十七日 日出 午前六時[illegible] 日入 午後五時四十二分

商況

債券現物特電

二十五日出來値 [illegible]

公債直取引

二十五日出來値 九六、三〇 [illegible]

深川在米特電

二十五日現在值 [illegible]

東京期米特電

二十四日前場 [illegible]

大阪株式特電

二十五日前場 [illegible]

大阪三品特電

二十六日前場 [illegible]

大阪期米特電

二十六日前場 [illegible]

下關期米特電

二十五日前場 [illegible]

●人氣尙弱含み

鐵類は今回自貨目に依十圓方下落せり

●亜鉛板漸落

鐵板は前報より遅れ氣配更に軟弱なり亜鉛板は既に高値より五十錢落ちなるが値四圓三十錢となれり後二十錢方下落し市中の眼先尙弱見込みなり

●洋釘は安含み

洋釘又大阪一圓安の報を齎らし當地は既に之を見越して過日値下げを行ひたれば今回は前値の據置み現狀維持の姿なるが底意は極めて弱し

●精白は漸落

原料の引締まり氣味なると反對に幾分採算の餘裕あると小賣の競爭に牽引せられずりく値を引下げ今朝は廿三圓五十錢となりたり眼先小賣店間の競爭は猶激烈なるが逸に暗陷せらるべきか知る可からざるも今日の處互に行詰り迄行くの外なき模樣なり

●大豆は強調

續き强調にて改良豆は十一圓頭迄の出來にて沿線地方も次第に引締まり數日前迄十圓二十錢內外に出來せしものにて十圓五十錢見當な報ぜり

●小賣白米値下

白米は別項の如く大部分が相當安な氣構へ居らるゝも各小賣店の競爭の爲め卸値以上に引下げ行せる傾きあり一部商店に於ては既に

一等白米二十三錢五厘 次米二十二錢

に引下げたり目下値さ對比して不投算なる他店も漸次之に倣ひつゝあり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 三巴仲買店 電一二一、二三 振替口座京城四〇二番

●古新聞空樽

年此處需要の盛況に連れて相場昂騰するの時なるも本年は內地品の移入殆ど杜絕の姿にて目下一番大樽に

一圓八九十錢

より又上品は

一圓さいふ空前の値

●石油空罐

は其後內地に向ひ且つ鐵力板相變らずの高値たるに引替へ大連方面の輸出盛んになる節此處問屋の買入れは矢張り六十二三錢を維持しつゝあり尙古新聞は突向需要多きに反し出廻り少なく阪神方面より漸々移入を仰ぎつゝあり相場は晝元原百斤七圓七八十錢見當市中物の買入れ値一貫目

四十四五錢處なり

●罐詰類は底强

市價は新穀の出盛りを見越して實行歩々しからず依然必要品の取引に止まれるが最近の內地市況は▲魚肉類は新物の一入高値を唱へ十錢方騰貴を告げ一等イワシは更に一等赤貝味付又五十錢上騰して十圓五十錢を唱ふるに至れり▲獸肉類にても牛肉罐詰も內地原料高の爲め依然强硬を呈し▲青物及び果物も新物の出廻れるに拘らず材料高のため一等栗、金柑、林檎、ブドー、九年、一等松茸、ポイルド、大多福豆等何れも五十錢方の騰貴を告ぐるに至れり▲漬物類は賣行良好にて奈良漬は二十錢高の十圓唱へとなりたり

京城正米

頃日來多く買控へ勝の精米筋も昨今稍々買氣ざし來りしもの丶如く買物藥なから比間差して買入困難なるを感ぜざりしも都市は此頃漸く窮の如くならず一般附屬の模樣に鍛練して氣配も之に連れ前日より二十錢方引締めたり

南大門の廻穀

平澤中白 三九叭 平澤糯 二六叭 平澤中白 一三〇叭 平澤白米 九一叭 平澤中白 一三〇叭 平澤白米 五叭

●市場雜觀

▲二十六日前場 當中出來不申 先限□十八圓八十一錢八十一錢 先限一□八十二錢三錢四錢三錢四錢 四錢▲後場先限は依け 昨日買ひ戻しの大口買付にて一擧二十錢方暴騰せり

▲昨後場は先限は依け きて動かず新規資物りしも鑑部は手仕舞買に新規資物より現はれ二十錢より○鑑は下に二十三圓二十錢より○鑑は買に安へたり

石の賣物に瓦落し 則新規買入に依る 僅々二千

▲當地は依然保合にて氣乘り薄の利がすり反つて小高き入電であつたや勿論である▲今朝大阪は晴天下の踊上日和を報じたるも前日天候の不良に上さりし丈天候の回復も千石の大商內行はれ大に市場の注目を惹いた▲買ふた今は三、四錢處で小掬ひ的に賣り退きたる等にて相場は更に動く餘地がなかった▲大阪のチリ高さ受けて漸く四錢也

買ふて有力な口賣の許 に後れ馳せに暴騰するに至つた 獨り安値に割安を感ずるに至つて米界の大々的暴落を雅じたるより経旧界の大恐慌を起しむしろ者ありしが比し大に割安を感ずるに至つて米界は既に平均一般株式の暴騰棉糸物價の暴騰共他諸物價の暴騰に先く立ちし以つて自ら紛れざる者なるが▲正米界は本日は慣くに倣び強ひ然る所有に倣ふ物ならずさ爲し遂に時勢に遅れたに過ぎず何時迄保合を持續する者なるか▲然るに今や高値時代は過去期に

籾の入津妙

仁川米豆取引所仲買人 仲賀 仁川港川町二ノ三 電話五二番

●釜山穀物(廿五日)

平澤中白 三九叭 烏山白米 一一叭 烏山糯 三七叭 鐵原小麥 二叭 烏山白米 五四叭 東豆川雜 二叭 鐵原小豆 四四叭 元山白米 四七叭 汶山大豆 一二叭 平壤雜 三〇叭 六六叭 一山糯 二九叭

▲正米(二十錢高) 產地よりの出穀未だ歩々敷からざれ共從て當市場の賣り物薄の現備なり當市場の精米口の必需品たる買氣なく米主も一寸品薄を唱ふる場合には氣配好況を呈し午前中玄米一千三百俵の商內行はれたるが相場は二十錢高なり

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長二〇〇八番

●釜山水產市場(二十五日)

▲入漁船五十八隻 ▲たい二十二圓 △ひらめ十四圓 △さば十四圓 △たこ八圓 △ぶり十四圓 △いか十圓 △しび十圓 △あじ二十圓五十錢 △さば三圓 △たち三圓 △雜魚六圓 ▲合計水揚高一千〇三十四圓〇八錢也

仁川期米

二十六日前場(保合)

▲大阪天候晴 大阪二節九十二錢安の入電出來不申先十八圓八十一錢安に寄付き八十錢と返し三圓十八錢に保合 大阪六節 二圓丁度に接したるも四錢安と揉み合ひ四錢さ依然保合の値

●仁川取引所

廿六日の十二月期 出來高 前場 寄付 高値 安値 止め 平均値段

下關相場

十一月限 十二月限 先月限 廿五日後場 前日と比し [illegible]

▲朝鮮白米は暴騰し 其後相場の如き米價は一時突破されたる上に米商は見る米の出廻り増加と共に新米の出廻りに別段賣り急ぎ物あらず尙は一押しあらんとの氣構にて買人の安堵へ居る爲め依然たる高値維持にて市況面白からず▲小豆は不引立 一寸入荷たる產地も安からぬに連れ持筋の氣張り居る爲め氣力なく然れども何分小口の賣物ならず然れども氣力なく過ぎずして市況引立たず居れり

●高値を維持

米は尙依然として株式の大暴落相場の大暴落の時に際し居る以つて他諸物價漸く低落に反し當分は出廻り對する好況見る以て世商家は旧來の形を維持の姿勢を如何に構へる處であるが、は何等の理由もなく時勢の好況は見越しの上にも影響し來るの時あらんか▲財界の大恐慌は日本米相場の大恐慌の上にも影響し來るの時あらんか▲財界の大恐慌は日本米の上にも影響し來るの時あらんか▲財界の大恐慌は日本米の高値を維持し居るの場合大に注意を要す

待って人氣の上 りを待つ新穀の出

轉換 せんさ來すならんさは期待する處である果して如何

確實(期米賣買案內) 仁川取引所仲買人 廣澤正太郎 電話二六三番

迅速(御相談) 仁川米豆取引所仲買人 マ 廣澤正太郎

白米標準値

十三圓六十錢

小賣白米

一等白米 二十三錢五厘
二等白米 二十三錢

現金賣

朝鮮製帽の前途

—蘭草を原料—獨特の選

—試驗的製造に成功し— —優秀なる製品を出せり—

仁川山根町、穴門を拔けて高等女學校へ通ずる急坂の左側に蘭草の漂白を試み救護院の一室に十有餘名の鮮人を集めてパナマ製帽の教授を爲しつゝある朝鮮製帽所を、世人は未だ其の存在をさへ知る者稀なるべし工業の發展を企畫し小工業の勃興を希求する現時に於て本事業の最も愼重に研究計畫せられつゝあるは吾人の齊しく慶喜する處にして將來豫期の發展に向はざる可からず而も内地に於ては現在の處僅かに一地方に小量の蒲草を得らるゝの外好適の材料發見せられざるに不拘我が朝鮮に於てはワングルと稱する蘭草の最も之が製林に適應せるを發見せられ試驗的栽培或ひは漂白の研究等幾多の苦心を重ねたる結果初めて其の優秀なる製帽資料たるを確保せらるゝに至れり、之を以て現在實驗し來りたる處に依れば其の

▲製品の卓越せる、高尚優美、而も堅牢にして到底本場パナマも克ち及ぶ處に非らず之畢竟原料の宜しきを得たるに依るものにして、獨得の考案に成る漂白法を以て蘭草の精選を爲せるの結果に依らずんばあらず、若し之に加ふるに編織の技巧更らに巧妙を期するを得ば西歐の市場に克く本パナマを驅逐し以て世界的に活躍するを得べし、斯の如きを以て本事業の有望なる未來を有するは既に

▲瞭然たる處なりと云はざるべからず、然らば將來如何にして之が發展を爲さんと企てつゝあるか、原料の生産、製造方法の狀況等は即ち本事業の未來を語るものにして又以て朝鮮製帽の前途を卜するを得べし（仁川）

▲仁川の享受する好影響は又決して尠少ならずと云はざるべからず即ち朝鮮製帽の事業は如何なる前途を有し現在如何にして研究經營せられつゝあるかを略記するも亦決して徒爾ならざるべし

抑本製帽所は奥田茂木兩氏の後援の下に増田清太郎氏專ら事業經營の任に當り本年五月より之が計畫に着手せるものにして現在にては鮮人男女二十七名に對して編織の技術を修得せしめつゝあり、而して此の外

▲仁川監獄署に於ても囚徒數十名へ對して之を教授しつゝあり、元來製帽事業なるものが如何なる未來を有するかに就ては過去に於ける供給の狀態を調査するを以て最も確實なるものとせざるべからず、即ち大正五年度に於ける東洋パナマと稱する内地製品の海外輸出額は二百七十九萬八百二十三圓の巨額にして前年に比し尚ほ八十五萬三千八百九十三圓の減少を示せり、斯ては即ち

▲歐洲戰亂の影響を受けたるものなるや論なしと雖も近年著しく奸商の粗製濫造する者多く爲めに南洋各地に其の聲價を失墜したる等之が大なる原因を爲せるものなりとす、故に將來製品を吟味し精密なる調製を以て外人の嗜好に投ずるを得ば本邦製品の輸出は更らに多額を算するに至るべきは瞭らかなりと云はざるべからず、而して之が改良を謀り聲價の挽回を期せんとせば從來の紙製を廢し先づ

▲材料の撰擇を急務とせ

●大同江架橋調査

總督府土木局平壤出張所長森賀太郎氏は本月初旬平壤に著任專ら部下を督勵して大同江架橋に關する調査中なるが氏の談に依れば目下結氷期に近づき居れば工事の調査に就ては特に急ぎつゝあり隨つて他の工事調査と相待ちて昨今は非常に多忙である大同江架橋は漢江架橋に比しては多少安いかと思ふ確實なことは河床即ち地質の調査を行なはなければ判明らぬが今日までの調査に依れば漢江のそれと比して安いやうに思ふ位置は無論稅關附近より陸路同附近の間に選ばなければならぬがこれも河床を調査した案配で何れに決するか目下のところ未定である一面交通の關係もあるが何しろ地質が惡くして何十尺掘つても岩石に打ち當らないと云ふが如きときは多少交通の不便あるにしても其位置を變へなければならぬと思ふ橋の長さは三百三十五間幅四間人道車道を造る譯になるが橋脚橋桁共に地質の關係に依りて定めなければならぬ大態は豫算作成の前に於て調査し決定してゐるけれども前述の次第で調査の結果變更しなければならぬのは自然の勢である殊に歐洲戰亂の爲め鐵の高騰は工事豫算の上に一大障害を來したるがこれについては總督府に於ても甚だ困難とするところであるこれから結氷期に入るが河の方は陸のと異つて結氷期に入る方調査の仕易いこともある氷の上に立ちて穴を穿けて調査するなど比較的都合の良い點がある風力は餘り位置の上に影響はない云々

芳菊百態

（二）　成南　瀆月生

菊は植物中菊科百餘種に對する總稱にして、櫻花と共に日本の國民花として愛賞せられ、其節操と淸勁とを徵象として、支那日本の詩人に好まる、風趣閑古典雅にして空高く氣澄む秋の日。蟲の音も細りゆく。萬物凋落して、山野の光景寂寞を極むるの時。秋の哀愁を外にして菊花の獨り芳香美色を以て晩秋の

△自然を裝飾するは。人事に對して或る敎訓を語るものゝ如し秋の風力冬の霜威に慣れて悵落する草木は悲哀にして、威力に反抗し之を破らんとするは悲壯なる菊の表徵に非ずや、克く風霜に耐て美香に擻るは菊特有の力美ならずや、壯大華麗なる大菊、艶麗なる狂ひ咲、愛らしき小菊取りどり趣深く氣品勝る、變化に富み種類多きも、菊なるものは主として秋菊を呼び稱ふるものならん、春菊は漢名茼蒿和名キクナ、ムジンソウとも云ひ

△夏菊は漢名翠菊和名エゾギクにして、紅白紫豔麗なるも到底秋菊に及ぶべくもあらず、寒菊は初冬より蕾を破りて開く、殊に甦菊の一種にして霜に映ゆる鋸齒より黄色の小花は其風姿烈女の面影あり。一種犯すべからざる氣品を備ふ。野菊はリウナウギク一名ヤマギク又はコギクと云ひ。自然の山野に自生し、尾花の穗の解けたる後の頃より淡紫、濃紫の優婉なる花を咲かす。野菊の中にも油菊と云ふは黄色にして香氣高く之を枕の中に入るれば頭淸て快眠を得べしと。其の他珠數菊、豆菊、濱菊、磯菊、除虫菊あり除虫菊は

△藥劑として貢獻すること尠からず。茲に文學的に菊を名稱すれば。芳菊、芬菊、哇菊、叢菊、丹菊、靈菊、霜菊、園菊、殘菊、霜菊、紫菊、珠菊、佳菊、露菊、新菊、黄菊、細菊、盆菊とす。

◉喜多流秋季大會

喜多流謠曲同好者にて組織せる喜多會京城支部にては來る二十八日午前九時より旭町靜養軒に於いて秋季大會を開くべく當日支部役員の改選を爲すべくその主なる番組は左の如くにて外に會員の獨吟、仕舞等多數あるべし參會者は會費二圓當日持參ありたしと

▲氷室ツレ山本、大多和、猶村▲賴政山口原▲千壽ツレ坂本夫人、村尾夫人、末光夫人▲放下僧ツレ伊藤、坂本、柴田▲井筒岡分宇野▲烏帽子折ツレ山本、子方渡邊、小松崎宇島、太刀持阪藤▲蟬丸ツレ吉岡、島本、永田▲玉葛鈴木、船井▲嵐山ツレ野坂、小原、林

◉長唄正聲會温習會

十一月二日壽座に開催

杵屋正三郎一派の長唄正聲會は吉田氏等の有力なる後援の下に開會以來會員著しく增加したるが會員の技藝も共に大いに進み來れるより來る十一月二日午後六時より壽座に於いて秋季大温習會を催すべしといふ

乾物に作るが

一番好い…誰にも簡單に出來る

●鯱や石首魚は

仁川の水揚げで一番多いのは何かと云ふと矢張り鯛である、それにニベ、石首魚、秋刀魚などは鯛に次いで最も多い種類であるが、之からは更に鯛許りで其他の者は漸次少なくなるのである、世間では一も鯛二も鯛と云つて鯛でなければ外の魚は食へぬかの樣に思つて居る向きもあるがそれ等の人は所謂食はず嫌ひで眞實の肴の味を知らぬ者の云ふ事で

▲成る程鯛は美▼

▲味に極つて居▼

るが下司だと貶す者にも却て云ふべからざる味ひを持つて居るものである、殊に其の値段の點から云つても鯛の高いのに較ぶると下司な者を美味く食べる樣に考へたが餘程の經濟である、肴は料理樣、野菜は煮樣と云ふがコイチなど謂ふ者でも、生でも好い、煮つけても鯛以上の味ひがあるが更らに甘鹽で一日位いて火に焙ると又何とも云へぬ特種の美味しさがある總じて恁んな肴は季節物で或る時期を過ぎると

▲食ひたくても▼

▲食へず買ひた▼

くても無い樣になるで多い内に安い時を見計らつて何とか之を利用する方法を考へねばならぬ、それには乾物を作るが一番である、乾物と云へば味も何も無い堅い許りが特色の樣に嫌ふ者もあるがそれも作り方次第では、どんな美味い物でも出來る、之から先き格安の魚が無くなる樣になつたら鯛の高いの計り食ふのは不經濟極まるから時には喰い飯に燒き立ての乾物と云ふ簡便な食膳を設けねばならぬそれには何とも知れぬ干物を買ふよりも

▲自分で造つた▼

▲鹽加減の好い▼

得意の味ひを試むるが趣味が多くて氣持ちが好い、美味しい乾物を造るなんか一寸素人には出來ぬ者の樣に考へて居るがそうでない其道の人に就て聽てみると頗る簡單で思ふ樣に誰にも出來ると云ふ事である、乾物を作るには今頃が一番好い時機で氣候は宜し殊に蠅が少ないので最も好都合である魚の種類は鯒、石首魚、海鰻、鰈、小鯛などは昨今適したもので其の製法に就ては

▲何れも同一で▼

▲至極簡單な物▼

である、何品に依らず先づ頭を除つて背を上手に割るそして綺麗に骨を取つた上で、宜く水を替へて洗ふ、若し鹽加減がしたいと思へば立鹽（鹽水）に一時浸して之を干す、鯱なんかの樣に縱長いものであつたら一寸五分か二分幅位ゐに縱に庖丁を入れて尾付の處で總括する樣に短冊形にし其他幅廣のものは端から端を串で透して縱幅せぬ樣にして置けば上等である、それを二三日も乾せば充分で出來上つたものは

▲適宜の大さに▼

▲切つて置くも▼

宜し長く保存したいと思へば罐の中にでも入れて空氣の當らぬ樣にすれば一年位ゐは何でもない、若し鹽加減の必要が無ければ生のまゝで乾すのも差支へなく朝鮮は空氣が乾燥して居るので、假令日光に晒さなくも今頃は決して腐る恐れもない、そして出來上つたものは焙つて食膳に載するもよし砂糖醬油を使つて佃煮に作るも妙だし、當の菜などには最も好適したもので、目下の鮮魚の相場では石首魚は百目十錢内外海鰻十二三錢鰈八九錢小鯛七八錢位ゐで之は日曜など船釣に出掛けても隨分澤山釣れるとの事である（仁川）

演藝案内

京城壽町　電話五七八番　壽座

十月二十五日より（初日）東京新時代劇愛澤正義一行

有樂館

稻荷座

京城本町五丁目　電話一〇五〇　壽館

京城明治町　電話二六〇　浪花館

大正館　電話八七三

黄金館　電話二六六七

仁川米豆取引所

二十六日の十二月限

寄付　高値　安値

節又六八錢を持合ひ六錢と打止め

大阪期米

◇株式取引所は東京市場に限り申候
◇全國有數の株式は全部定期取引に掛り居り候
◇定期以外現物市場は更に廣く取扱はれ居り申候
◇四圍の事情に逆行したる相場は更に趣味の多き事に候
◇弊店は一に顧客の御便宜を本旨として誠意忠實に御取扱申上候
◇御遠隔の地と雖も證據金だに御前納被下候へば些の御不便も無之候
少共御用命希上候

東京株式取引所仲買人
東京市日本橋區坂本町十八番地
沖野米三郎商店
電話浪花 九三七番 四六四番 二八五番 四六五七番
取引所内連接
振替東京一六六〇二 電信略號（オ）

製塩工場新設廣告

弊店今般三好製鹽工場を讓受け且つ改善を加へ一ケ月約百萬斤の製鹽能力を以て製出仕り品位の點は從來の面目を一新し純白乾燥なる最も善良なる製品を續々貯藏仕り居り候間多少に不拘御用命の程伏して願上候

再製鹽製造販賣
大豆、小麥、其他雜穀
石炭、麻袋、其他雜貨
佐賀セメント輸入販賣

關東州産青島産　原塩直輸入
合名會社　鈴木商店
釜山出張員
電話七六二番　工場絶影島一四番

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ二六　電話三〇七七
東京パイン萬年筆出張所

神經衰弱　特効　ユーキリン

榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス

本品ハ帝國大學敎授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ

說明書進呈ス
東京室町　三共株式會社
各地有名藥店ニテ販賣ス

朝鮮高麗人參　直取引商
京城本町一丁目（郵便局前）
人參エキス本舖
津村兄弟商會
藥劑士 土井兼次郎
電話一四八〇番　振替京城五二一番
顧問

支店
津村商會支店
龍山支店
大邱支店

内用效能
○胃腸病○神經衰弱○結核症○肺病○老衰○健麻質斯○痔病○痔疾腦病○婦人病一切○營養不良より起る諸病其他諸病後衰弱に對する滋養強壯劑

外用效能
○神經痛○火傷○切疵○腫物○蟲に螫れた時○筋の張る時

資本金壹百萬圓
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
京城　株式會社　漢湖農工銀行
支配人　遠山熙
支店所在地（開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

富の道しるべ
山縣五十雄　村上唯吉共著
價十五錢　郵稅二錢
京城日報社代理部

妻絹儀病氣の處養生不相叶昨廿五日永眠致候此段謹告候也
追而葬儀は來る廿八日午後二時自宅出棺龍山寺に於て執行可仕候
大正六年十月廿六日
須々木林次郎
男　須々木重太郎
男　須々木勇平
親族總代　須々木幸次郎
須々木權次郎

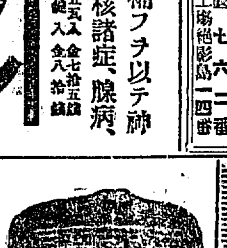
醬油値上廣告

原料容器等益々騰貴に付不得止本日より左の通り値上賣行仕り候條不相變御用命奉願上候

大樽壹挺に付　金一圓二十錢上
小樽壹挺に付　金四十錢上

大正六年十月二十五日

仁川醬油釀造業組合



醸造元　福岡縣三瀦郡城島　合名會社清力商店
京城本町二丁目　清力京城支店
江原道春川　清力出張店
釜山　清力釜山支店
平壤大和町　清力平壤支店

注射液
ワクシン

軟性下疳菌ワクシン（下疳横痃用）
アクネ菌葡萄狀球菌混合ワクシン（ニキビ治療用）
肺炎球菌ワクシン（肺炎治療用）
インフルエンザ菌ワクシン
百日咳菌、肺炎球菌、混合ワクシン
感冒用　肺炎球菌、インフルエンザ菌、假性實布垤利亞菌、葡萄狀球菌連鎖球菌混合ワクシン
麻菌ワクシン（痲病治療用）
結核菌ワクシン
葡萄狀球菌連鎖狀球菌混合ワクシン（結核の混合感染及化膿性疾患治療用）
其他合計二十餘種英國ライト博士の下に研究せる阪上ドクトル擔任製出

東京京橋南傳馬町　星製藥株式會社細菌部　電話京橋二〇一二、一七八五

（明治三十九年九月二十八日第三種郵便物認可）

汽車 京釜線（南行） 同（北行） 釜山連絡 湖南線（南行） 同（北行） 京義線（北行） 同（南行） 浦支線 京仁線 仁川行 京元線（北行） 同（南行）

[illegible]

左甚五郎

第六十六席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

三五郎の女房おきんは夫を思ふ餘りに猶も膝を進めて　きん『お前さんは然ういふけれども例へば長遂の遣る襤褸だつて、あの人は新しい物を仕立させては旨いけれどもツギハツコして何うにか一枚の衣類に丹精して見やうなぞと然ういふ細い仕事はあの人は叶けないとか、まア仕立物でさへ然うですもの、職人の荒い仕事になつて來たらそれは名々得手得手のあるもんでさアね、出來ないのは出來ない

宜いけれども、他人の物だからイヽ粗雑な仕事をされると、他人に仕事をして貰つて俺が恥を掻くやうな譯なんだ　きん『そんなことはあるまい　三『然う叶かねと云ふことよ、お前も聞いて知つて居るだらうが、上野の鐘樓堂の寵なぞは奴が一生懸命に遣つて、他の者に猶且一を占められてしまつた、　きん『それおやアねお前さん　三『エ、　きん『其のことで妾は思ひ出しだが、名人が寄つて仕事をした

として自分が遣つたつもりで、何處か他の棟梁に頼んだら何うです　三『俺も迷ムシャクシャして居たもんだからお前に小言を云つたが宜いことを云つてくれた、其のことは思はねでもないが、俺の吩附つた仕事を他の棟梁へ行つて頼むといふのも氣が利かねね　きん『氣が利かないにも氣が利くにも、そんな苦勞をして居て遅くばかりなつてしまふだらうし、又身體でも悪くすると叶けないから宮本町の喜三郎さんなぞはお前が心安くして居るから自身に行つて能く頼んだら遣つてくれるだらう　三『そいつはな、今お前が云ふ通りだが京都大工といふのは他の仕事は兎も角も彫物にかけちやア巧ねものだ、それを宮本町の亂心喜三郎に話しをして旨く遣つてくれりやア

ツて……三軒町の政右衛門棟梁の處に居た甚五郎さんといふ棟梁が大變に旨いので、其の人に一を占められたといふのだらう、ソラ御覧な其の甚五郎さんといふ棟梁は今ぢやア大層な評判で、諏訪町へ別になつたといふことだから其處へ行つてお前さんが直接に其の甚五郎棟梁に能く事情を云つてお頼み申したら何うだらうね、それなら確だらう　三『然うだの、お前の前だけれど宮本町の喜三郎見たやうに平常威張[illegible]して居りやア兎も角も、[illegible]無ねんだから頼みにく[illegible]んだ、ツてお前さん事情を云[illegible]頼めば否とも云はなからうから　頼みにくいなぞと云つて居ないで、少しも早い方が宜いから其の運びをおつけなさい　三『ぢやアお前の云ふ通り只考へて苦勞ばかりして居たつて仕樣がねえ、何と云ふか一ツ行つて頼んで見やう、錢金で愁うといふと悪いから、大厨酒が好きだと云ふから酒の切手でも持つて行かう』と牝雞勤めて牡雞時を作るとか、門跡棟梁と云はれる三五郎が支度をいたしまして清島町から諏訪町雑作もない、訪ねて來つた譯

諏訪町の新長家、路次の角が高田屋といふ酒屋だから是幸と、此家で五升の切手を一枚拵て貰ひ酒屋で聞くと直に解つた　三『エー御免下さい』……甚『ハイ何誰』ガラ〳〵〳〵　三『エー今日は　甚『ヘイお出なさい　三『エー諏訪町の甚五郎棟梁のお住居は此方で　甚『ハイ此家です、手前が甚五郎で　三『ヘエ失禮をいたしました、甚五郎先生……　甚『イヤ先生などと云はれちやア迚に困ります

何方から　三『初めてお目にかゝりますが　甚『まア何うぞお上り下さい　三『私は清島町に居りまする大工の三五郎と申します　甚『ウム、あゝ然うですか、お噂には聞いて居りましたが、ぢやアあの門跡棟梁で　三『ヘエ、俗に皆さんが門跡棟梁と被仰いますが　甚『何か御用で　三『少々お願ひがあつて出ましたのでございます　甚『まアお上んなさい』と座敷へ通しました

歯科診療 野田醫院
本町一丁目三越向 電話四七番
歯科醫士 野田應治

鳥獸剝製調進 羽根布團製造修理
毛皮なめし並に仕立
鳥毛類高價買入 京城本町二丁目
貿易商 樽元商行
電話長二〇六九番 振替京城三四九九番

品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある
高麗人蔘エキスは
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房
電話一九四八番 振替京城三七五三番

九星　十月廿八日九星
舊九月十三日癸卯　本命三碧　東取先負

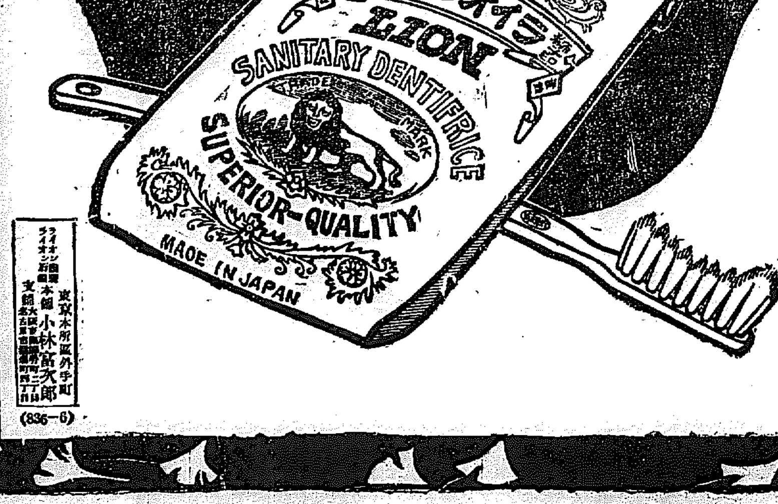
▲三碧● 自惚論の[illegible] ▲四緑● [illegible] ▲五黄● [illegible] ▲六白● 一寸閉口する[illegible] ▲七赤● はんまた[illegible] ▲八白● [illegible] ▲九紫● 利潤の[illegible] ▲一白● [illegible] ▲二黒● 兄弟爭[illegible]

新築落成
京城明治町二丁目
入院隨意 胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

蛇印 アンチピリン丸
かぜねつ特効藥
▲求めよ!! ▲用ひよ!! ▲なをる!!
◎感冒◎ねつ ◎流行性感冒 ◎頭痛◎麻疹 ◎おりウマチス
本劑の特長は ◎最新高貴藥の配伍 ◎絶對に副作用なし ◎胃中にて溶け易し
十錠十五錢 廿五錢 徳用 金五拾錢
本舗 大阪、東京 丹平商會
賣捌は全國各藥店

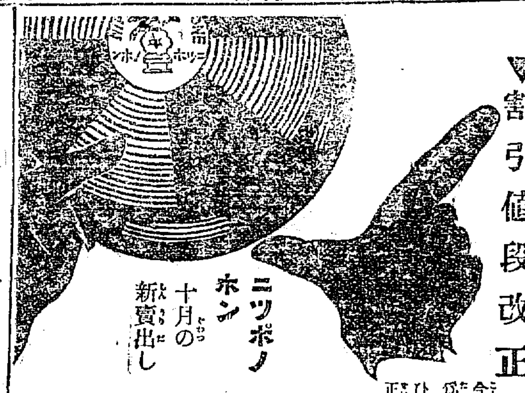
寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版 [illegible]
京城日報社 寫眞製版部

風冷かなる朝夕に
やさしい櫻色した
ライオン歯磨を
使ふことは
何といふ愉快でせう!
1 専門歯科醫諸君の推奨せらるる『優秀な効果』と、
2 粉末の微細から來る申分のない心持よい感じと、
3 時代の好尚に適應したる優雅なる香味とは、
衛生の上からも、趣味の上からも、十分の御満足を諸君に與へる事と信じます。



ライオン歯磨 ライオン石鹸 本舗 東京本所區外手町 小林富次郎
支舗 大阪 名古屋
(836-6)

蜂印香竄葡萄酒
健康となる金科玉條は
美味滋養
蜂印香竄葡萄酒を
毎食前飲用するにあり
さすれば血を増し肉を肥し
知らず識らず健康體となる
金銀賞牌二十四個
▼蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を原料とし滋養主成分として精製せる飲料品なり



ニツポノホン
十月の新賣出し

▼割引値段改正仕候
今春來原料暴騰にも不拘、弊社は御引立に酬ゆる爲め今日迄隱忍三五割引ミの舊値段を維持仕居候ひしも、最早如何とも致し難く、玆に割引値段改正仕候間 倍舊の御引立を賜れ度候

鷲印レコード 金壹圓五拾錢の五拾錢引
一義太夫 日蓮記 豐竹古靭太夫 鶴澤清六
一清元 櫻八 清元喜久太夫
一落語 ずつこけ 柳家小さん
一お伽劇 浮かれ閻魔 東京少女歌劇部 オーケストラ伴奏
一歌劇 はやし連中
外ニ貞山の講談（秋色櫻）大阪は三府の音樂 近江八景（花揃）オーケストラ、地唄等
右登枚 金壹圓五拾錢の五拾錢引賣出し

ニツポノホンの新製品
スタンダード西洋剃刀 定價壹打金廿四圓
全國到る所の特約店樂器店にあり

株式會社 日本蓄音器商會
朝鮮京城本町二丁目二十九番地 電話一二八三番

桃谷研究試驗所製
佛蘭西式純白
美顔洗粉
◎御内意に依り謹製したる品

大正四年五月上旬、或る尊貴の御係から、佛蘭西製の或る洗粉ミクリームとの御見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの有難き御内意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、技師一同飽くまで深重に綿密に研究を積み、同七月下旬を以て創製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ、爾來常に御用を拜して居りました其二品の中の洗粉を先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此美顔洗粉であります。斯ういふ品ですから、一度美顔洗粉を御用ひになりました方は、必ず其品質効用に御満足遊ばされ、引續き愛用せられる有樣であります。貴族上流方御家庭からの直接御注文も近來非常に多くなりました

美顔洗粉定價小袋八錢中袋十六錢大袋二十四錢
發賣元桃谷順天館 全國化粧品小間物店にあり

桃谷研究試驗所の外觀

第三版

京城日報

二十七日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 一ヶ月金五十五錢 一ヶ月分以上前金 郵税一ヶ月金十五錢
廣告料金 七字詰一行金三十五錢 特別…
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城本町通一丁目 京城日報社
電話 … 振替貯金口座京城三〇〇番

▲舞鶴開港 は舞鶴町多年の宿望として不斷の努力を拂ひ來りしも其時機に達せざりしが朝鮮と母國との輸出入は逐年增大し今や

▲新航路の 開始に資せんとして元山、清津、城津等北鮮各重要港にありても舞鶴と提携してこれが必成を期すべく運動を開始せる

近く奥田舞鶴町長の名により三大臣へ陳情の手續に及ぶべきが開港の主旨とする處は先づ國家經濟上より日鮮間新航路開始の必要…

…して本航路の開始は對岸北鮮と最捷利便（元山舞鶴間五百三十哩）なる舞鶴港は正に理想的港灣にして且つ背後の都市と短…

▲航路實現 の曉に在りては京阪神を始め北國商業の本據たる京阪神を始め以東各地と對岸元山、清津、城津を始め之に連絡せる滿蒙方面の貿…

…路を開き或は三井及び山陰道に…輸入し或は江原…する海產物及び肥料を成鏡南北道に産する…

▲山陰一圓 並に府下各郡に…らず因つて茲に多年渴望せる本航路開始の前提として願くば此際舞鶴を開港せられんことを望むと云ふにあり

…め各官廳公衙銀行等を訪問せり

◎關釜連絡船缺航 廿五日夜入港の豫定なる關釜連絡船壹岐… (下関)

京城日報

釀造品々評會

撫城秋酣にして天高く馬肥ゆるの候、全鮮釀造品々評會は諸般の準備滯りなく成りて豫定の如く二十七日より商品陳列館樓上に開催せられ、同時に其の褒賞授與式を擧行さる。

朝鮮に内地式釀造法の移入されしは近時の事にあらず、酒は明治三十二年、醬油は明治二十五六年の交より既に釀造を試み居れるものありしも、需給の關係は當時斯界に對して未だ左したる刺戟を與ふるの程度に達せず、其の產額品質共に見る可きもの尠かりき、然るに新政施行以來内地人移住增加の結果は延いて鮮人の生活狀態に一新紀元を劃し兩者の需要頓に激進して以て斯界は玆に進展發達の端を得、遂に今日の隆昌を見るに至れり。

試みに昨五年中の斯界を大正元年に對比するに清酒の釀造高は二萬四千石より三萬四千餘石に、醬油は三萬石より三萬七千石に、何れも非常の激增を告げ、前者は移入額を超過すること七千餘石、後者は實に三萬二千石約七倍を算するの狀況なるのみならず今や遠く露領亞細亞及び南北滿洲方面に對して輸出を見むとするの趨勢に在り。

酒は素より奢侈品たるも特種の事情あらざる限り國家は到底其の需要を禁ずる能はず、既に需要ありて國家之を禁せざる限り其の生產を奬勵して需給の調節に努め其の品質を改善して聲價の向上に盡す可きは政策上より見るも素より當然の事に屬す、況むや朝鮮の斯界は漸く比年改善進步の實を示し販路の前途亦旺洋たるに於てをや、當局が此の機に於て釀造品々評會を開催し之れに依りて品質の改良進步を促し聲價を内外に發揚せしむると共に爾今益々其の產額を增加して以て鮮内の需給は勿論將に來らむとする海外輸出の機運を捕促するに遺憾なからしめむとするは洵に機宜を得たるの處置と謂ふ可く、當業者にして自他互に研鑽琢磨を怠るなく銳意斯業の進展に鑑すあらば如上の効果を收むること敢て難事にあらざる可し。

蕪辭を綴りて斯會の開催を祝し併せて斯界の前途を祝福す。

航空界と歐洲戰（九）

國民飛行協會長 長岡外史中將講演

扨て此の頃の戰爭は昔の其れと大分趣が違つて來た。昔の戰爭は刀一本で出來たものである。刀一本は代價にしても八十圓か百圓であつて、極く雜作なく戰爭が出來たのであるが、此の頃の戰爭は莫大な費用を要するのみならず武器は年一年と進步する彼の自働車に據附る速射砲は一分間に百四十發も擊てる。武器の進步と共に戰爭は頗る慘酷となり、多數の死傷者を出す。併し其の代り戰爭は早く終熄する。即ち此の頃の戰爭は全國民を擧げてやるのであるから長く戰爭をやる事は、國民の生活に非常なる影響を及ぼして來る。是等の點から戰爭の永續は却々困難である。今次の戰爭に於ても政治家も、經濟家も、軍人も其の他一般の者が斯樣に觀察を下したがドツコイ間違つた。文明が進むに隨つて戰爭が慘酷になると云ふは事實であるが、彼等は却々戰爭に倦まないのである。之は全く世界の豫想に反した。是に於て又吾々に一の教訓を與へたのである。其は何んであるかと云へば、事に倦易い國民は世界の舞臺に立つて何事も爲し得ないと云ふ點である。然るに吾々日本人は氣候の關係や、家庭生活の關係上、物に倦み易く變化を好む。例へば日本や朝鮮の土地其のものが頗る變化に富んで居る。私は決して物の變化が悪いと云ふのではないが、試みに釜山から汽車で京城に來る途中窓外を眺むれば山あり、河あり、野原がありと云ふ次第で、四邊の光景は刻々に變化して行く。所が歐羅巴は左樣でない。場所によるとまる二日も汽車が麥畑の中を走つて居る。故に倦易い人ならば歐羅巴の旅行も出來ないのである。

日本の土地が既に右の如く變化ある上に、家庭に於て更に倦み易い性質に造上げるのである。例へば何處の家でも子供に玩具を與へるが、中には子守が附いて居て、さあ之を上げませう。いや其れをお捨になつてはいけません拵ふて拵りにやつて居る。之は不知不識の間に倦易い性格に造上げるのである。さなきだに子供は新らしいものを好む性質を有つて居るのに、更に變化を好む樣に仕向けて行くのであるから、成長の曉に於てはどうも物事に倦易い人間になつて了ふ。貴君方の御家庭に於て左樣に子供の躾をなさるのは大に困る事ぢやと私は常に嘆へて居る。御承知の如く從來獨逸製の玩具が大分日本に輸入されたものであるから、誰も獨逸と云ふ國は隨分玩具の盛んに行はれる處だと想像するであらう。併し事實は全く違ふ。私が曾て獨逸に足かけ四年程居た事がある。下宿したのが或る判事の家であつたが、其の家に三人の娘があつた。或日皆集つて面白相に遊んで居る。私がひよいと見ると三人共手足や頸の取れた大根見た樣な人形を大事に抱へて居る。可愛想に私が良い人形を買ふて進げませうと言ふと、傍に居た子守が、いゝえ其れには及びません。もう直ぐクリスマスが來ますから、又新らしいのが貰へますと言ふのである。尤もの事である。其れから氣を着けて伯林市中を見て步いたが、東京の三倍以上もある伯林に於て玩具を陳列した商店が二軒しか無かつた。而かも其れは本業の傍ら少し許り製造して居るのに過ぎなかつた。倦易い性質では將來の戰爭に堪へない。否な戰爭に打勝てないと思ふ。人生の生存競爭に於ても同樣で、今度の戰爭は此の點の教訓を吾々に充分與へて居る。ねばり強くしてどんな困難でも打破つて進む元氣を養はなければ、何の戰爭にも到底打勝てぬと云ふ事が能く分つたのである。

英吉利の常備軍は戰前に在りては陸軍が六師團に過ぎなかつた。此の他地方軍と稱するものがあつたが、純粹の軍隊と言へるかどうか分らない。其れが兩方合して廿師團に過ぎなかつたのが、今日は凡そ六百萬人の兵となつて居る。何れも皆戰爭に注いで居るのである。國民の智識階級が競ふて戰場に赴き、爲めに大學教授なども殆んど全部從軍して居り、其の他中學校や小學校の教師の大部分が出征して居るのである。之は皆女子を先生に採用して居る。只今英吉利では十七歲から五十歲までを壯丁と稱して居るが、何れの國と雖も、用を爲さぬ所の盲者や傴僂等の不具者のみが國に殘つて居る丈で、苟くも立派な男子たる以上は、職業の何たるかを問はず、皆戰爭に出で若くは出やうとして居る。さればの戰爭は全く國民的になつて來たのである。只今は英吉利の戰線には現役士官が居らず、皆豫後備の士官がやつて居る。獨逸も同樣であらうが、今や國民と國民との戰爭になつた。

支那漫遊

蘇峯生

貨幣即貨物

長春は日、支、露三國の交叉點なるが爲めに、貨幣も一層複雜し居れり、凡そ鴨綠江を渡りて、旅客の最も不便とし、且つ奇異に感ずるは、通貨不定の一事也。而して長春の如きは、其の標本地とも云ふ可し。予は正金銀行支店に於て之を見、其の餘りに澤山なるに驚歎せり。

我國正金銀行の金券あり、銀券あり、朝鮮銀行の金券あり。露國の留紙幣あり。而して最も流通するは、不換紙幣の官帖にして、其の他中國銀行券、交通銀行券、殖邊銀行券の如きも、先づ半不換紙幣と申して、不可なからむ。

されば長春に於ては、通貨も亦た一種の貨物として其の取引を必要とするや論なし。乃ち其取引所に於て、一年四億圓内外の取引ありと云ふ。予等も現場を見物して、其の盛況に驚けり。而して此れと…

長春より大連

予等の長春の大和ホテルに於て、始めて旅館らしき心地せり。清潔也、整頓せり、周到也、而して且つ懇切也。不足を云へば、料理なれども、そは此地方にては、致方なかる可し。

十月二日正午、南下す。堀内中將同朝、南より投宿、同夜亦た南下すと云ふ。「精力想ふ可し。」予等を送りて停車場の步廊に立ち、口吟して曰く『極目千里君を送りて秋高し』と。手を握りて別る。

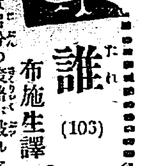
何人も東清鐵道に乘りて、始めて滿鐵の難有きを感ず可し。但だ公平に評すれば、滿鐵にも改善の餘地、頗る多きに似たり。最惡の鐵道と比較して、自から得々たるが如きは、決して向上發展の道にあらじ。

車窓無聊、讀書に耽るのみ。鐵嶺の急ひ、辨當を携へ斷らる。三十九年の夏、熟卵と、生大根を噛りつゝ、板皿の上に寢ね、昌圖驛より大連迄、殆んど三十時間を費したるに比すれば、長春より大連迄、四百三十七哩を、二十時間に達し、然も寢臺車に安臥する如き、轉た人をして、今昔の感に禁へざらしむ。夜半、海城にて河瀨三平君、夫人、令孃を伴ひ迎へらる。此邊予が明治二十八年戰役に際し、付近の地也。始めて東京の車内陰晴恒ならず、大風雨を聞く、關心頗る多し。三日曉に際し、大石橋に於て、大雷雨に遭ふ。瓦房店に到れば、天霽れ月出づ。金州に抵り、南山を朝日の光りに指點する間もなく、身は已に大連停車場にあり。予を待ちつゝありし、大谷光瑞師等來り迎へらる。予は師と相見て、悲喜交も臻り、殆んど言ふ所を知らず、相ひ伴うて大和ホテルに投宿せり。爾來僅か臥四日、今朝漸く起床、以上三文を艸す。

大正六年十月七日午前六時、大連大和ホテルにて

誰（103）

布施生譯



利介は自分の策略が破れたので段々不安心になりだした、そして不本意ながらとう〳〵錦富の意志の堅固な事を認めないわけにはゆかなくなつた、その內或夜眞夜中の二時過だと云ふのに慌しく須太郎が驅込んだ。

「どうしたんだ、おい、何、何でもないんだ、いやそうぢやあ無いんだ、いや實は大有りよ、實は今迄錦富の野郎の對手をしてみたんだ」

「うん」「野郎と美那子と其外二三人寄つてる奴を何に喚んだんだ、野郎め隣室で花牌を引いたが、何が濟むと花牌を引いたが札が引けないんさ、已達は構はずやつてゐたのよ、其の内野郎め金庫をあけるとした事から銀行の金庫をあける合文字に口を乞らしやがつた「おそりや素敵だ、何んと言ふんだ」「ジプシイと云ふのよ」「利介は笑つて、然うかい其の間からだの錦富の身の終だ、今度こそは彼奴の身の終だ、金庫を開けた者は誰にしろ此度は彼奴の處へ來る、其の機械の在處は知つて居るし、合文字は分つたし、さ、錦富の奴、…」

（以下判讀困難）…十二萬圓銀行にある事は貴樣も知つてる通りよ、いゝか、已はあれを左樣さな先づ明後日の早朝に受取に往くからと通知しておく…奴め乾度前の晩にそれを取寄せておくだらうちやあねえか」絹太郎は思はず手を拍つて巧いと讃めた、二人はそれから猶綿々と相談して愈次の日曜即ち二月の二十七日に其計畫を實行する事に申合せた。

社長主筆 小松綠 中外新論

朝鮮に於ける大賣捌、購讀豫約、廣告申込等を取扱ふ爲め今般京城大平通り一丁目三十一番地（電話八四八番）に朝鮮總支社を設置し津田鍛雄氏を推して總支社長と仰ぎ候、猶は本誌の創刊號は重版致し候に付新號より御注文に應ずるを得べく候

十一月號 愈よ美しさを增し益す面白味加はる 東京 博文館

少年世界
此一擊（野球物語）大江小波 … 鯨の温を計る … 職工の子 … 死んでも死ぬな日本軍人 …

少女世界
少女島（冒險小說）… 姫の小舟 … 日本のお子様方へ … 親切な友達の話 …

わた 大下落 品入荷 (スヤリメ)綿部 京城 電一九〇一

被服拂下入札 春川憲兵隊本部

最新刊
丁巳の旅 … 國語大辭典 … 支那資源 …

大阪屋號書店 京城本町 振替京城二五七三

安藤善四郎著 朝鮮鑛石學探鑛法 四六版二百五十頁 定價 壹圓貳拾錢 送料六錢 發行所 京城 ウツボヤ書籍店

▲有用鑛石鑑定法、▲鑛業令 ▲探鑛法、鑛山發見法、石分析法 ▲鑛物に關する一切に初學者

朝鮮總督府編 朝鮮藥用植物調査書 四六版洋裝 定價九拾錢 送料六錢 發行所 京城 ウツボヤ書籍店

▲本書の公にせらるや學校、病院、醫生、藥店、植物採集者に大歡迎せられ ▲漢方藥料原名の外鮮名、効用、產地 …

賣捌元 京城日報社代理部
賣捌所 京城本町二丁目大阪屋號 京城本町二丁目巖松堂 京城本町二丁目日韓書房

實業之日本社 臨時增刊 定價參拾錢 郵稅貳錢

現代の嚴正批判

新設化學工業 戰後の運命 / 戰後勃興すべき金屬精錬業 / 海運及び造船業 / 輸出貿易如何 / 海外發展如何 / 農村經營如何 / 物價の將來と其調節 / 新舊大富豪の攻防角逐 / 戰後社會變化の二大傾向 / 國際的自尊 / 戰局の批判 / 日本の立場 / 世界組織の大變動 / 我が勞働問題 / 實業家の今の國家に如何

◎英軍航空隊功績

英國軍事當局者は英軍航空隊の功績に就き述べて曰く九月中我軍は航空隊の觀測に依り六千九百十六發の砲彈を放ち千八百十一回敵の砲火を沈默せしめたり尙敵飛行機を墜落せし殊勳者中には二十臺以上の敵飛行機を墜落せしめたる飛行將校を數ふべく或る一將校の如きは四十六臺の敵飛行機を墜落せしめたり(倫敦電報)

◎假議會豫備會議

民主黨及び中產階級分子を以て成立せる露國共和國假議會は二十日メリー宮殿にて其第一回豫備會議を開催せり(露都電報)

◎獨軍大兵を集中

二十四日英國公報に曰く敵け攻勢に出でん目的にて我戰線に對し大軍を集中せり是等軍隊の大部分は獨兵なるが敵が其攻擊を開始する曉には我軍の敵襲に對する準備の堅實なるを發見すべし昨夜ジュリアン戰線の各地點に對して敵は更に猛烈なる砲擊を加へ(ロンボンとパインシザ高原北部との間にては主として毒瓦斯彈を用ゐて砲擊を行ひ以て攻擊開始の兆を示したるが險惡なる天候と我軍砲臺の猛烈なる發射に依りて敵の砲火は曉天に及むで漸次薄弱と成れり(維馬電報)

◎孟督軍對抗準備

前吉林督軍孟恩遠氏留任運動の爲め北京に赴ける者よりの情報は頻々として接至するも其齎らす處の北京政府の態度なるものは報道區々にして爲めに孟氏の態度決せず唯依然各地分駐兵を吉林に集中しつゝあり長春には新たに司令部を設け高士儐氏司令部に在りて萬事の指揮を爲し居れるが吉林に兵の主力を集め當地を前衞として討伐軍に備へんとするゝ如し而して支那銀行の金庫は嚴封を施し何時にても占領に便せんとし爲めに銀行は皆閉鎖せり尙二十六日朝より民兵の大募集を開始し軍備の充實を計り居れり但し吉長鐵道は無事に運轉を繼續しつゝあり一般支那人は時局を樂觀するにや吉林官帖の如きも暴落を告げず商業は平日の通り繼續取引しつゝあり(長春特電)

◎討伐軍惠州占領

廣東省惠州の獨立せる張天署氏討伐の爲め同地へ出動したる劉志陸氏の先鋒隊部統は報告して曰く『二十一日惠州獨立軍張天署の部下洪兆麟內應したる爲め砲火を交へずして惠州を占領せり張天署の行衞不明なり』と(上海特電)

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○吾家に梧桐の大樹あり、今より十九年前、卜居の際、其の翠蓋は、既に二階の窓を蔽へり。蓋し前代、若しくは前々代の主人の、植ゑ置きたるものならむ。○然るに其の樹身に、何者の惡戯にや、種々の字や線を刻しつゝあり。予は樹木を愛するに於て、未だ人後に落ちず、之を見る毎に、無慘なる仕業かなと思ふことを禁ずる能はず。然るに二十年餘を經たる今日に於て其の痕跡の消滅せざるのみならず、樹木の生長と同時に、其の痕跡も、愈よ擴大せられつゝあるを見る。○此に就ても想ひ起すは、少年時代の感化也。凡そ人の一生に於て、第二の天性を爲すもの、此間に養成し來る、實に十中の八九たるが如し。乃ち少年の一日は、中年以後の百日にも相當す。少年時代の印象程、等閑ならざるものはなし。○少年時代に、艱苦を經れば、其人の心は自から練熟して、思ひやり深き者となる。是れ艱苦の一德也。されど此れと同時に、餘りに逆境に擠されたるものは、小意地惡く、邪推深く、僻み根性多く、ひねくれ者となるの虞も、決して皆無にあらず。是れ其の反面に於ける一欠也。○別けても少年時代に受けたる哀傷の如きは、一生其人の性情を暗陰たらしむるもの也。出來得可んば、少年時代には、光明と、愉快とを以て、充滿せしめよ。是れ一生の幸福也。

◎郵船歐洲航路變更

西廻り線廢止=巴奈馬經由決定

日本郵船會社歐洲航路船は十一月一日横濱解纜の西廻り船讃岐丸を最後とし爾後總て東廻り航路船を執ることに變更せるが右は要するに神戸を起點とし北米西海岸に於ける桑港若くは他の一港に寄港して巴奈馬運河を通過し英國に直航するものなり(東京電話)

◎教員增俸決定

臨時教育調査會總會は小學教員の俸給を國庫及び市町村の連帶支辨とすることに可決せるが多分一人當五圓位の增額を見るに到るべし(東京電報)

◎日置公使北上

日置公使一行は二十六日朝大連より奉天京奉線にて北京へ向へり(奉天特電)

◎大隈信常氏一行

大隈信常氏一行大連より奉天通過長春へ向へり(奉天特電)

◎安田氏一行通過

安田善三郎氏一行二十六日朝奉天通過長春へ向へり(奉天特電)

◎長岡中將動靜

長岡中將は二十六日午後三時四十分腕車にて義州より安東著官民の見送りを受けて五時背に向け出發したるが同地一泊の上二十七日本溪湖二十八日奉天二十九日大連著の豫定なり大連滯在中旅順に二三日間往復し戰蹟を視察し都督府を訪問する筈なり(安東縣特電)

◎京中生徒通過

京城中學校生徒一行は二十六日朝本溪湖へ向け出發せり(奉天特電)

◎物價騰貴と地方經濟狀況(一)

京城商業會議所調查

時局の進展と共に諸物價次第に昂騰し一般經濟上に及ぼせる影響は殆んど大にして國民の各階級を通じ苦痛を感ぜざるなきの狀態に在り朝鮮は比較的戰亂との交渉稀薄なるが故に母國の如く痛切なる波動を見ずと雖も尙戰前戰後を對照すれば著しき相違あり今京城商業會議所の調査に係る最近諸物價の漸騰並に米價の昂騰が地方の小都邑僻村に及ぼせる經濟上の影響奈何を聞くに左の如し

▽京畿道地方

▲坡州郡 米價其他諸物價騰貴の爲め一般殊に細民の生活益々甚しく非常なる窮狀を呈しつゝあるが米價騰貴に伴ひ產米は大部分地方に賣出し盡したる結果稀に見るの粟の移入約三千石に上り尠からざる經濟的影響あるが如く布木、金物類殊に綿絲の結果需要激減したると各種掛買金の回收特に困難となれる有樣なり

▲開城郡 諸物價益々騰貴し而かも毛織品、皮類、金物、硝子製品、菓物等の如きは三割以上の高値となり中にも[illegible]及び柳行李の如きは約數倍の價となり普通營業者は斯くの如く高價なる品を仕入るゝも到底開城にては賣捌の見込立たず故に一般仕入を手控へ在來持合品を賣却せるのみ又一般顧客も物品に拘らず高價なる所より只非必要品の外購買せざる有樣に付市況は日々淋しく當業者は一日も早く平日の如く物價下落を切望せる狀況なり

▲楊平郡 米價其の他諸物價は騰貴一方にして稀有の高値を唱へ一般に恐慌を來したるのみならず本郡の如きは耕地積極的狹少にして穀類の產出少く隨つて貯蓄豐ならず金融は自然逼迫し資金を得るに途なく地方經濟に及ぼしたる影響尠からず然るに產出の市場に販出せらるゝに至り而も本郡に於ける米穀は稀有の好成績なるのみならず格外の高値を以て取引せられ穀販賣代金の流入に依つて地方金融に資したるもの鮮少ならざるの結果一旦逼迫に傾きたる經濟狀態の緩和を見るに至りしは喜ぶべき現象なりとす然れども大部分の物價は尙騰貴一方にして一般に大なる恐慌を抱持しつゝある事實なり

◎關釜間の貨物輸送力

關釜聯絡貨物船として德壽丸の外に新に第三共榮丸本月二十三日釜山に入港引續き運航することゝなりたるが同船の船腹は約四百五噸一日平均百五十噸なれば關釜の輸送力は同船の運航により一日總計九百五十噸に增加したる次第なるが此の內本州線行に充つべき六百噸を差引きたる殘り三百五十噸の船腹は全部門司及び九州行に振當てらるゝにより同方面の船腹は昨年に比すれば大に餘裕を生ずる譯なり尙ほ昨今荷動の狀態を聞くに關門及び九州行は兎角不足勝にして同方面行貨物は當分順調に輸送せらるべし鐵道に於ても大に之を歡迎し速達を勉むべしと

◎府稅組合費成績 京城

府十月三十日限の納期たる第二期市街地稅及び第三期學校組合費中市街地稅成績を聞くに市街地稅調定額八萬九千七百八十七圓人員二萬八百九十七人に對し二十三日迄の納入濟額二萬八千二十八圓此人員六千五百四十五人にして約三割強の納入、又戶別割調定額三萬七千七百八十四圓此人員一萬五千七十三人に對し二十二日迄の納入濟額五千八百三十一圓此人員二千四百二十四人にして人員に於て一割の納入成績を擧げ居る有樣にて出來得る限りの方法にて納稅力を督勵しつゝありと

◎輕鐵運輸時刻

[illegible]輕便鐵道[illegible]線は既報の如く愈々十一月一日を以て開通すべく目下同線に於ては線路其他[illegible]準備を急ぎつゝあるが開通の曉には一日三往復を運轉せしむる筈にて其時間は左の如し

▲下り行 [illegible]

▲上り行 [illegible]

◎大正水利潛管破損

不二興業會社の大正水利組合は其の工事漸く完成したるを以て工事請負者たる鹿島組より授受を了し廿四日を以て竣工式を擧行すべく準備中なりし所不幸にも去る廿一日桃峴川潛管に故障を生じ通水不能となり且つ其の破損個所不詳なるよりして其の程度不明なるより組合に於ては此の際如何にもして豫定通り竣工式擧行の決心にて修理に著手し潛水夫をして破損個所並に其の程度を確めしめんとせしも容易に判明せず遂に今回の竣工式は一期延期となすの已むを得ざるに至れるが此の破損によりて工事請負者たる鹿島組の蒙るべき損害は約三萬圓の程度なるべしと(安東縣)

◎注目すべき諸將態度

湖南に於ける北軍の形勢益々不利となり吳光新氏は重慶に引返へしたるが合江縣鎭守使周剛范氏は二十三日獨立を宣し桃源縣の陳遐齡氏の態度又怪しく第二師長陳復初氏は獨立軍に內應せし形跡あり更に湖北襄陽の石星川、惠州の黎天才兩氏の態度も亦疑はしく傅良佐氏は王占元氏に對して辭意を漏らし四川の劉存厚氏は唐繼堯氏と妥協せりとの說あり(上海特電)

◎湖南救援軍出發

湖南救援第一軍司令官馬濟氏は惠州事變の爲め出發を見合せ居りしが該事件も落著せしに依り二十五日四營を率ゐて出發したり(廣東特電)

◎吉長借款殘額交附

吉長鐵道借款六百五十萬圓の中未償還額百九十八萬圓及び其の他の費用を差引き殘額四百六十萬圓を滿鐵より支那政府に交附せり(北京特電)

滿洲より

東拓の滿蒙進出は滿洲では素晴らしい人氣を呼んでゐる何にしろ一千萬圓の新社債を滿蒙開發に振向けようといふのだから奉天支店の責任も重且つ大でなければならぬ▲支店長吉野小一郎氏は豫て鮮銀から轉じた高瀨理事が握つて居た腕前、それでこれから大にやらうといふ御披露は廿三日奉天の金城館で花々しく開かれ石塚總裁はじめ各方面の人々大車輪の斡旋振りであつた▲殊に總裁は曾て大連の民政署長であつた人、土地の豪傑連中にもヤア久濶で……』といふやうな挨拶が頻りに起つた▲それに日露戰爭中の民政署は總司令部の兵站部に隸屬して居たので度々無造作に貨車でやつて來たものだとの懷舊談もあつた▲『滿蒙の經營といへばチト大袈裟だが先づわれ〳〵は碁の定石を置きに來たやうなもので……』とは高瀨理事のおはなし▲お移りには日露戰爭前支那の乞食に化けて奉天に居たとかの噂ある鈴木參事の本能寺が大喝采▲併しながら鈴木さんの鎗はお手に入つたもの……この下馬評によればこれまで度々滿蒙の深さを試みられたものと見ゆる

◎京漢線手荷物制限 京

漢線は最近に聯絡旅客の取扱を開始し居れるが[illegible]附近は徒歩を要する[illegible]制限方面を通過せる手荷物は之が輸送をなさずと

◎石塚總裁消息 滿洲

支店開店の爲め渡滿中の石塚東拓總裁一行は二十六日夜奉天發二十七日大連に入り二十九日迄滯留の筈なりと

◎東京商議員入京

東京商業會議所議員支那視察團山科禮藏氏同副會頭の一行は北行の途次二十六日夜十一時(京釜線列車延着の爲め)南大門驛著入京朝鮮ホテルに入れり一行は最初七名なりしも三名は釜山にて一行と別れ入京せるは山科氏以下常議員同行、同篠田和助、同書記赤松堂の諸氏なり一行は二十九日朝京城出發北行の途に就くべし

◎小田切氏通過期 北京

北京に在る正金銀行重役小田切萬壽之助氏は東上の途京城通過の筈なるが氏は目下正金の出資に係る四鄭鐵道工事狀況視察に長春地方の旅行を行ひつゝあるに付其の通過は來月なるべく二十五日夜安東通過の本紙電報は誤電なり

◎中外新論總支社

前外務課長小松綠氏の經營にかゝる月刊雜誌中外新論は氏が多年朝鮮に居て活動したる緣故により今回京城太平通り一丁目に總支社を設置し津田鐵雄氏は小松氏の親友たるの關係により支社長として其事業を援助すべしと

人事

▲[illegible](鮮銀[illegible]) 二十六日夜入京不知火旅館へ ▲[illegible](金田病院長) 二十六日朝入京天眞樓へ ▲[illegible]四郎氏([illegible]) 二十二日夜入京天眞樓へ

百聞百種

無線電話が成功したイヤ無線電信が成功したと大騷をやつて居るが今より二十年以前米國アマゾン流域のインデアン土人は▲既にから一種の無線電信を使用して居る事が近刊の米國地理學會雜誌によつて報道されて居る▲此無線電信機はキヤンバルスと稱せられ其の構造は先づ地面に穴を穿ち▲其中程迄粗き砂を盛り其上に木片や骨片を積み▲更に其上に雲母の粉末を撒いて地面を同平面に達せしめる▲以上內部の裝置が終つて後其外側は堅き木の箱を以て圍み▲箱の上部に獸皮や皮を張つて太鼓の樣な裝置をする▲各酋長は此無線電信機を備へ一二哩の距離から信號合圖をする場合は▲棒を以て其太鼓の樣な皮を叩くと是が明瞭に一方の無線電信機に反響し▲其音響によつて通信を交換して居たと云ふ事である▲鳥渡何人がやつても面白い事だ物も試しだやつて見給へ

◎長岡中將動靜

既報の如く[illegible]午新義州發自動車にて義州著[illegible]

◎木浦 ▲天長節拜賀 [illegible]十一日の天長節祝日は例に[illegible] ▲部長巡閱 濱田警務部長は二十一日午後四時來木巡閱を了し十二時發の列車にて出發せしが[illegible]

◎開城 ▲部長歡迎會 [illegible]

營業品目

肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、果印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、珪曹達

京城東大門外紅蔘町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番

京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城一〇〇四番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます ウテラ化粧品代理店ですから ……値段がお安いです

京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七七三七

陸軍御用酒

發賣元 京城蓬萊町 三巴酒造株式會社 電話長一〇六七番 振替口座六一八番

大田出張所 電話長一三五番

平壤出張所 電話長五二一番

特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

瀨戶外科皮膚科醫院

京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番 (診察 九時迄) 醫學士 瀨戶潔

株式會社第一銀行支店

資本金 二二、七〇〇、〇〇〇圓

積立金 一一、二〇〇、〇〇〇圓

諸預金 一八八、〇〇〇、〇〇〇圓

支配人 西村道彦

京城府本町二丁目(振替貯金京城一一一番)

安心してお買求めの出來る 日ノ出向島印學生帽子 實質は價格に勝る優良品!!

全國均一販賣値段 A號 壹圓五拾錢 B號 壹圓三拾錢 C號 八拾五錢

全國到る處同一値段故御求めに少しも御手數相掛け不申

登錄商標 登錄商標に御注意

發賣元 東京 吉安商店

皮膚科 徽毒科 專門 外科 扇田醫院

內科小兒科一般診療

太平通二丁目 (電話二二五八番)

(內科外科午前。皮徽科へ午後夜間診療)

謹告 母シメ儀豫テ病氣之處藥石無効昨二十五日鄕里ニ於テ死去致候此段謹告仕候

大正六年十月二十六日

男 永野清

親戚代 古川八彌太 伊藤德順 鹽澤義夫

友人代 大塚常三郎 大橋常三郎 國友尚謙 星野德治

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版

京城日報社 寫眞製版部

二十七日より 大正館

寫眞又々長尺に付正六時より日曜祭日は午前十一時より晝夜

▲米國キーストン會社傑作 滑稽活劇 取換兒 二卷

▲英國フライシング會社作 探偵活劇 赤自働車

▲尾上松之助得意の俠客劇 舊劇 小金井小次郎

家庭悲劇 龍卷 渡邊霞亭先生傑作 婦人世界連載小說

大發展後の大正館を見よ

波瀾あり、曲折あり、涙あり深刻なり、家庭小說として何人か霞亭先生の龍卷を推さざらんや、智子と光子姉妹の數奇なる運命に慟哭し、崇高なる人格美に打たれ聖なる涙に洗はれんと欲する全ての人は速に來れ見よ、貞操の勝利!!要の讃美是れ

京城本町二丁目 川合時計店 電話二九一八 振替京城一二二九

公告

第壹號 金浦郡陽村面[illegible]山里所在 草坪面積約拾七町步

第貳號 同上 面積約參拾四町五反

第參號 金浦郡陽東面馬場里所在 草坪面積約百八拾町步

右本年度草坪內生產物競爭入札ニ付シ公賣ス望ノモノハ十月二十日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ラレタシ

大正六年十月二十日 金浦郡

▲二十四日　午後三時より[illegible]州にて講演◆同日午後七時より安東公會堂にて講演◆廿五日午前中安東小學校にて講演同正[illegible]

因に同師は廿四日午前中は採木公司大津氏、正金支店長手塚氏等の案内にて安東附近を觀覽せり

[illegible]式を行ひ十一時より公會堂にて官民合同觀賀會あり又府尹は午後一時より婦人會同六時より官民有數十名を招待し宴會を開く

[illegible]は印度の佛蹟を探究し歸朝後曹洞宗大學々長の重任にありし高僧なるが去る廿四日突然木浦に來り邱禪寺を訪ひ同[illegible]

[illegible]棉花は取りて頂上の[illegible]を保ち爲め一層氣遣はれしも豫想外に早く直し昨今出廻り漸く盛となり殊に競爭入札制度に幾分せら[illegible]

[illegible]來月十日より五日間開催すべき木浦府務安郡聯合生産品品評會は準備着々進行し殊に協贊會は豫定に倍する會員を得其設備[illegible]せられたるを以て當地官民一同は[illegible]日午後六時より夜明樓に於て歡迎會を開催せり出席者は内鮮人合[illegible]十時頃なりき▲白蔘[illegible]白蔘は非常の高價にて尾蔘の如き一斤四圓を唱ふる有樣故京城の[illegible]

◎金剛山探勝團　東京實業家有志にて組織せられたる朝鮮各地及び金剛山探勝團一行二十四[illegible]二十七日全部入城[illegible]出發歸東の途に就く

◆秋の陽

廿六日北門にて撮影

◎ヒマラヤの景色も及ばぬ金剛山
『金剛』こは梵語から來た
探勝して歸つた來馬琢道師談

曹洞宗の高僧來馬琢道師は東京實業家有志の發起になる朝鮮各地及び金剛山探勝團長として各地を視察し二十六日夕大門驛著列車にて元山より入京したるが、師の車中談左の如し

今度の旅行で一番懷かしく思つたのは平壤である大同江の流に沿ふ滿目の秋色は恰度今見頃であつて

◎赤壁の樣な　所もある　殊に世間の人は一寸氣が付かないが永明寺といふ古刹に就ては尠なからざる感興を惹いた。と云ふのは朱朝後禪宗と念佛宗とが自から融合した歷史があるので、永明延壽大師の系統を引いてゐる此の寺に就ては

◎深き印象を　與へたのである、が併し惜しい事には今は燒けて只其の廢址を止めてゐるのみであるが殘つてゐる舍利塔を見るに、六角で笠をつけて何も飾りも著けずに卵の樣な石を置いた所杯は、支那や印度にも見ない古風の趣きがある。安東縣で感じた事は南支那と同じ樣で毫も變つてゐる所が無い事であつた。金剛山は從來の道案内書に依ると非常に億劫の樣に思つたが、行つて見ると

◎案外樂な旅　で長箭の融富自轉車店主の好意で、自轉車の便を借つたものだから一日に十里二十七町も歩く事が出來た。要するに金剛山の景色は今まで納が歩いた内地は勿論印度支那其他の色々な勝地の山の色、谷の色、川の色を一つにして見上ぐる如き背景の中に在る如な心地がした。卽ち外金剛は雄大なる

◎自然の庭園　に於ける變化を見るべく、内金剛は天空及び水色に於ける變化を見るべく、ヒマラヤの景色も富士山乃至泰山耶馬溪、木曾、丹波乃至信濃路に於ける高原地方の風色を見るよりもモツト更に

◎雄大で崇嚴　なるものがあつた、何れにしても金剛山は世界に誇るに足るべき雄偉なる絶勝地であらうと私は思つた、尚ほ『金剛』の名は梵語バヂラーの譯で堅固にして動かず壞ずれざる意味を有つてゐるのであるから、之を英語でマウント、ダイヤモンド杯と云はず強ゐて英語を用ゐたくはマウント

◎コンゴー　とでも云ひたいものである、斯う語つた師は途中で慿な句を得たとて左の二句を記者に示した。

溪聲山色の夢破ぶれ朝寒し

秋の風あの山岩近あぶな

◎醫師三名のモヒ密賣嫌疑

咸北羅南居住醫師山本和太郎、丸茂英雄、松浦唐三の三名はモルヒネを密賣の嫌疑に依り十八日淸津檢事分局に召喚、取調を受けたり

◎乘馬黨の遠乘　永登浦まで

來る二十八日駐劄軍司令部乘馬常有志の發起、京龍官民乘馬黨數十名の贊成により龍山より永登浦へ遠乘を行ふ由なるが其の次第は午前十時五十分龍山驛前廣場集合午前十一時出發漢江橋を渡り鷺梁津西南方地區を經て永登浦驛南方高地に到り偕行社の設備に係る中食を喫し午後一時卅分頃出發皮革會社附近汝矣島及び鷺梁津を經午後三時頃龍山驛前廣場に歸着解散すべく往復行程約四里半なりと

◎又も暴れ熊　二名に重傷を負はす

咸南豊山郡安山面下[illegible]境里農劉鳳珍(三八)同里申宗乙(三[illegible])の兩名が十月十七日午前十時頃村の山路を通行中突然一頭の大熊顯はれしより宗乙が大聲を發したるに熊は直ちに同人に咬みつき右大腿部右腕等に深さ骨膜に達する重傷を負はせたるより鳳珍は熊を追ひ拂はんとしたるに暴れ出したる熊は更に同人に[illegible]鳳珍を襲擊したる際折惡しく木の根に躓きて倒れたるより得たりと[illegible]かゝり鳳珍、前額部兩肩、腹部左手等に深さ骨膜に達する咬傷を負はせ同人は生命危篤に陷り居るを發見したる多數の里民は棍棒等を携へ追跡したるに熊は既に何れへか逃走したりと

◎白米又復値下　廿六日幷につき五厘

京城市中の小賣白米は數日前にも五厘方の値下を爲したるが二十六日より又復五厘の値下げを行ひたり、卽ち之れにて京城の小賣値段は特等米二十三錢五厘一等米二十三錢となりたるわけなるが右は全く市中小賣商人が競爭の結果に基くものなりといふ

◎朝鮮醫術開業第一部試驗の合格者

總督府醫院内に於て本月廿二廿三の兩日に亘り施行せし朝鮮醫術開業試驗第一部試驗成績は二十五日午後發表されたるが受驗

▲總員廿名中　左記受驗號の十名合格せり

第二、第三、第四、第七、第九、第十一、第十九、第二十號

尚ほ第二部試驗は二十六七日兩日施行せられ來る三十日其成績を發表せらるべく第三部は十一月五日頃四部(臨床)は不明なりといふ因みに來年一月一日より醫師試驗規則改正せられ從來三部まで合格せし者にても

▲次回の試驗　を受くる者は第一部より新たに受驗せざるべからざる規定なりしを明春より施行の新規則に依れば前回の試驗第一部の合格者は次回の試驗に第二部より受くる事となり又た第二部乃至第三部とも合格し第三部乃至第四部に於て不合格となりし者も前回既に合格し部門の試驗は之を受くるに及ばざる事となりし爲め一般受驗者に取りては極めて便利なるべし

狂者の群
總督府醫院の精神病室を參觀するの記　２

哀れな沈默△△いぢらしい少年狂人△白癡者の仕事△△朝鮮の[illegible]△吾輩は世界顧問だ△[illegible]

ある室では一人の朝鮮人患者が一隅に臥べつて口を開けたまゝ。その前に立つた私すら顏をじつと睨めて瞬きもせず身動きもしないのがあつた。[illegible]

◆何時迄　經つても起きやうともしない。そして何が欲しいとも何が嫌ひとも言はずたゞ御飯をやれば寢てゐて默つて食べるのです。そして一切に人と口をきゝません。といつて啞ではないのです』私は試みに二三語口を開いて見たが果せるかな彼等らず口アングリで目ばかりパチつかせる。

◆病室を　覗てゐる間にヒョ[illegible]

[illegible]

◆亂暴を　働く樣な者を押込んで錠を下して置くと云ふ室の錠を外して板戸を開けて見ると、陰氣な溫突室に四面は板張りで天井の眞下にたゞ纔かに小さな明取りが付いてゐるばかり。中には四十歲を少し越した前齒の一本抜けた入患者が傍にも振らず一生懸命に病の藥袋を張つてゐた。『これは一寸見たところ亂暴を働く樣にも見えませんが——』と沈氏に聞くと『左樣、精神[illegible]はしませんがある時間が來るとよくやります

◆患者ご　いつも始終[illegible]

[illegible]

◆薄氣味　惡く思つたが默つて見てゐると先生手を合せて私に丁寧に御叩頭をして、さて徐ろに口を開いて『旦那、好う御いでになりました。それに旦那、何卒私に三十錢ばかり貸して下さいませんか』と來た。『それは一體何に使ふのかね』と私が聞くと『へそれはね、私がかうして永い間この病院に入つて居りますから隨分食べたい物がございますよ。何にか買つて食べたいから何卒

◆三十錢　ばかり貸して下さい[illegible]

◆吾輩を　置いて他に人がないから仕方がないぢやないか吾輩は世界の顧問だ。吾輩がこの病院からさへ出れば各國の王樣は爭つて吾輩を招聘に來るよ。その時には君を使つてやるからまあ僕を信じて三十錢ばかり貸て呉れ』と怪氣焰。私は何だか事實らしいよりは痛ましい樣な感じがしてならなかつた。沈氏は『御客樣にそんな不作法な事を云ふものぢやない』と恰も小供をナダメる樣にして他の病室に向つた（未完）

◎家諸共に燒死

全南木浦竹町一丁目九番地旅館金京友方より十月二十日午後九時二十分頃發火し木浦警察署員及消防隊を指揮して消防に努め同夜十時頃漸く鎭火せり一棟を全燒し[illegible]因みに戸主京友(二[illegible])は[illegible]重要書類搬出の爲め[illegible]飛び込みたる爲め煙に捲かれて逃げ道を失ひ遂に無慘の燒死をなせり[illegible]家屋の損害二百圓家具[illegible]四十五圓總計六千二百四十五圓の損害に達したり尚原因は同日午後六時頃溫突に焚火したるに其の殘火が破損の箇所より漏れ古綿に延燒して大事に及びたるものゝ如し

◎親の顏へ鎌

[illegible]原道平康郡縣内面[illegible]往里金炳元(二[illegible])は實男金德勸(二[illegible])と十月十[illegible]日午後五時頃同里産上の爭ひより親子共爭論を初め德勸は鎌を以て炳元の右額部に打ち込み出血夥しき爲め遂に死亡するに至らしめたるより同月十五日平康署の手に逮捕され目下取調べ中

◎善隣商業のマラソン競走

善隣商業學校にては來る十一月三日午後一時三十分より[illegible]往復約五哩に亘るマラソン競走を擧行すべく其の準備[illegible]

◎來馬琢道師講話

二十六日夕入京したる來馬琢道師は同日午後七時より若草町曹洞宗別院に於て朝鮮各地視察に關する講話をなせり

◎妻の母を殺す

慶北清道郡梅田面南陽洞李弘基(三〇)と同里朴喜南女(六[illegible])の娘は[illegible]なるが喜南女は娘を取り戻して他に轉嫁せんとしたるより弘基は憤怒の餘り十月八日夜喜南女を亂打して遂に絶命するに至らしめ死體を同里の河中に投棄して投身自殺したる如く假裝し埋葬許可を申請したることより發覺して關係者は悉く逮捕されたり

◎急行列車延着

二十六日夜九時南大門驛着の京釜線急行列車は約一時間五十分の延着を見たるが右は風波の爲め連絡船延着したる結果なりと

◎京城府廢休

京城府にては市街地稅第三期の納期に當るも明二十八日は日曜に次て三十一日も天長節祝日なれば自然二十九日三十日の兩日に多少納稅者の混雜すべきを慮れ[illegible]二十八日の日曜には之を廢止し[illegible]臨時金庫を[illegible]收納取扱ふ事に決定したれば[illegible]納稅者は可成同日納稅せらるゝ方便利なるべし

◎高田韜武師の講話

曹洞宗朝鮮布教監督高田韜武老師は二十七日午後の列車にて京城に[illegible]二十八日京城婦人會[illegible]講話をなす由二十九日龍山鐵道倶樂部にて講話をなす由

演藝

▲壽座　新時代劇伊井蓉峰一派は二十五日より[illegible]一行何れも達者揃ひにて車輪に勤め居れり二十七日よりは『丁抹の家』を出す由その主なる役割左の如し▲力士鹿代湯(山形)▲宮妓光彌(明野)▲愛妾おひな(酒井)▲女中お時(衣川)▲[illegible]

▲有樂館　二十四日より秋季特別興行として全部新寫眞と差替たるがその主なるものは[illegible]

▲大正館　二十七日より全部新寫眞と差替[illegible]

▲黄金館　二十七日より[illegible]

▲浪花館　[illegible]

◎うわさ

▲鮮銀で市場に拂出した小額紙幣十錢も五十錢も同じ型である▲二十五日入京した小林鮮支府務官は京釜線の車中で切りに三枚の手形を見較べつゝコレは大變よく[illegible]出來てゐる▲唯同じ型では盲目の按摩などは其の授受に一寸困るだらう[illegible]

◎小說休載　連絡船遲着の爲め

金牌受領　本舗　大阪　三宅堂

本椿ポマード　本椿香油　男女兼用（モッタイない時代遲れ）好評を博せる本椿を以て謹製せり　毛を黒く柔らかにする　赤毛縮毛拔毛折毛等を防ぐ事妙

品揃廣告　諸品大勉強　メリヤス各種　諸雜貨卸商　京城南大門通一丁目　瀨戸商店　電話二七一七番　振替京城二四〇四番

京日案内

◎文具雜貨店格安に讓り度し　普通　姓名在社　767

◎石油大安賣　左記に移轉致候　黄金町四　白井商店　黄金商前　763

古本買入申候　本町一丁目（明治町筋）野村書店　電話三〇五〇番　765

◎經驗ある外交員數名採用希望者は履歷書添へ保證人二名を要す　南山府草梁　廣南商事株式會社　757

うちみ　ほねつぎ　明治町フランス教會前　荒川仁壽堂　電話二五九五番　625

◎愛媛人元安城郡在御一報願ひたし　大田所在御一報謝禮呈す　京畿道安城　町田商店　741

◎藥劑師至急雇入れたし　希望者來談あれ（姓名在社）743

◎貸家又貸家　場所林町四九番地　家屋十二間數十有離家付　黄金町二丁目　四一　古賀迄　747

◎店員入用　市内に確實なる保證人を要す　京城南大門驛前　友田運送店　電話二一八二　754

◎店員手代入用　希望者本人來談あれ　京城府齊藤町二丁目百二十番地　大橋大三郎　750

◎營業部員　男女を問はず經驗ある者希望の者は履歷書携帶本人來談あれ　黄金町二丁目　京城新聞社　261

◎銃砲火藥獵具　京城本町三丁目電話二〇九二番　增戸銃砲店　764

銃砲火藥獵具　京城南大門通二丁目電話一五六〇　本店仁川　支店青島　藤木銃砲店　760

恩給年金即時　特三年分迄無保險　利息低廉　京城南大門外（蓬萊町）山口屋　電二六八八番　622

銃砲火藥獵具　京城明治町　電話三〇二　支店太田、公州　瀧川銃砲店　636

恩給年金立替　三年分迄無保險　電話三三九一番　京城若草町　金光教會裏手　國江商會　667

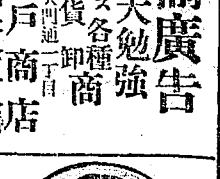
職生募集　新案特許に依り簡易製法にて利益多く自宅にて製作見本郵送　京城太平通二　太陽ゴム商會　362

大工道具及物　本店本町三丁目出張所西門通　電話八四番　振替一七八〇　小林萬錄　746

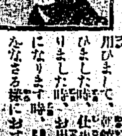
礦物定量分析　朝鮮公論社　左横小路　太平町二丁目　電話長一三四四　坂元分析所　748

◎勸業債券買入　日本勸業銀行と同値段にて申受ます　京城大平通二（電話一八三二番）勸業貯蓄會社朝鮮支部　753

手の美しさ　（ミツワ文庫六）
手先に婦人の優しさ表はる　手先を荒さず美しくする法
尾上菊五郎談



私共が舞臺に立ちまして女になります時には手先を細く優しく見せます爲に隨分苦心いたします、身體すつかりで踊りましたり科があつたりするのですから何も手先にまいと云ふ風にお考へになる方もありますでせうが女の優しさはねに斯う云ふ處へ表はれますものですから自然と苦心もあります譯でございます此の手先はつまり御婦人方なぞの舞臺と同樣に舞臺でない場所でも優しさの表れます處で特にお客樣のあります場合なぞにお辭儀をします時先づ此の指先が目立ちますお茶一つおすゝめしますにも先づ手先指先が目立ちます、ですから身體全體を淸潔にしますのは勿論ですがその上斯樣な細かな點へ注意が及ぶ樣にしますのが御婦人方の身嗜でございます、特に此から秋の冷には一體に皮膚の荒れ易い時でございますが特に水仕事をなさる方は手先の荒れが激しくなりますから此を防ぎますには皮膚の營養を助けるミツワ石鹼を使つて入浴を怠たらずになさるに限ります、入り加減に湧きました浴槽の中へミツワ花の雫を四五滴たらしますとこい芳香が立てこめますから快く浸りまして濡れた皮膚へ此のミツワ石鹼を掌で溶いた雪の樣に白い泡沫を塗りまして撫でますと汚垢は此の石鹼の作用で吸はれる樣になつて流しますからお湯で流しますと汚垢は此の泡沫と一所にするりと落ちて皮膚は淸潔になり營養は助けられて皮膚は生々とした色澤になります、さて湯上りに此の淸潔になりました皮膚へミツワ健膚藥を擦り込む樣に塗りまして暫くしましたら湯なり水なりで緊く搾つた手拭で此を拭へる樣にしますと皮膚に吸はれない餘分が除れて皮膚が滑らかになり肌理が自然ざ細やかになつて參ります、此からの秋にも絶えずミツワ石鹼を使つて入浴し湯上りに必ずミツワ健膚藥を塗る樣にしますと自然の効驗が見れて參ります、前に申上げました樣に此は特に注意して頂く手先の御洗ひなぞにも荒れない手當をなさるにも念入になさいます樣にしますと自然手先が美しくなりまして人の前に出しまして恥かしくない樣になります、俗に云ひます皮膚病に罹りまして指の間や手の甲へも出來ましても手先の美しい方も人前へ出せない樣になりますから入浴を度々なさいまして湯上りに必ずミツワ健膚藥を塗りますと著々と癒りましてもとの美しい手先になります。



▲尾上菊次郎曰く　髮のよくなります油は普通の椿油とは違ひまして[illegible]お手入一つでさへ[illegible]ミツワ椿油[illegible]おすゝめいたします。

▲發賣品目錄送呈　東京橫町　丸見屋商店

下關切米特電

二十六日後場　採算買に寄し

三…三百…

●日本海横断

現在の航路のみにては滞貨の消化に苦しむに至り我が經濟界に及ぼす損害尠少ならざるより朝鮮總督[illegible]

より舞鶴町にても此の好機逸す可からずとなし町理事者及び舞鶴實業協會にては各方面に向ひ運動を試みつゝありしが去る十八日の[illegible]

を説き今是に日本海直通の横断航路を採らんが北航程及び運賃は優に半以上を低減し得るに至るべく從って日鮮貿易の發否を來たし[illegible]

距離（大阪舞鶴間八十七哩二、神戸舞鶴間百二哩二、京都舞鶴間六十哩二）にして交通完備し又府に於達しつゝある北陸山陰一帯を控ゆ[illegible]

易關係は此の新しき一線たる舞鶴港は[illegible]山に依り益々進捗を得べく又近くは兵庫縣地方に生産する元山、清津[illegible]

移入し其他、牛、綿布、雜貨、大豆、豆粕、雜穀、建築材料、日用品等彼我の輸出入は舞鶴に集散して益々需給を圓滑流通し得べし此の如て[illegible]

●川上理事動靜

川上東拓理事は米山庶務課長を随へ廿五日午後一時三十分新義州より[illegible]丸は海上風波の爲め下の關を出港せず依つて同夜は映航せず（釜山）